

令和2年度以降入学生用 カリキュラム・マップ

教育学部

(令和3年3月4日更新)

学位		学士(教育学)											
付属情報													
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4	
教養基礎科目	新入生セミナー	1年次	必修	LAFS0101	新入生セミナー	2	演習	自主的な学習態度を養い、大学での勉強・研究に必要な基礎的方法を身につけるとともに、充実した学生生活のあり方や習得すべき社会マナーについて全員で意見を交換し、自分の考えを深めていくことを目標とします。		○		○	
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1101	数理・データサイエンス入門	1	演習	現代社会では多様で膨大なデータの利活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。本授業では、数理・データサイエンスの基本的考え方、統計学の基礎、情報技術の基礎的知識を理解し、今後の学習で数理・データサイエンスを活用した学習ができるようになることを目標とします。また、具体的な社会課題における数理・データサイエンスの具体的な事例を学び、数理・データサイエンスの必要性について理解し、将来社会で数理・データサイエンスを活用の必要性を説明できるようになることを目指します。		○			
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1102	情報処理・データサイエンス演習	2	演習	現代では情報処理技能の習得は必須であり、これから大学で学んでいく上でも、コンピュータを中心とした情報処理能力は不可欠です。学校教育においても、教員の基礎的な力として情報処理技能の習得が求められ、情報機器の操作の履修が教員免許取得の条件として義務づけられています。本授業はそれらにも対応するものでもあり、情報処理の基本を実習を通して学ぶものです。		○			
教養基礎科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション	2	演習	日常生活および自身の経験や考えについて英語で述べる能力を養う。挨拶、要求、承諾、助言などの基本的なコミュニケーションを図るためのスピーキング能力やコミュニケーション・ストラテジーを身につけることを目指す。また、客観的な指標に基づいて、自身の英語力を把握する。		○		○	
教養基礎科目	英語	2年次	必修	LAEG2101	英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。基礎的な語彙力や文法力を習得する。TOEICで500点以上を取得する。		○		○	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	基礎英語A	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける。		○		○	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	基礎英語B	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。		○		○	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	基礎英語C	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。		○		○	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	中級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。		○		○	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	中級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。		○		○	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	中級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。		○		○	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	中級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。		○		○	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	上級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	上級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	上級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	上級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	総合英語ⅠA	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	総合英語ⅠB	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2307	総合英語ⅠC	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。		○		○
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	総合英語ⅡA	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2308	総合英語ⅡB	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2309	総合英語ⅡC	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。		○		○
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	総合英語Ⅲ	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を発展させ、さらに高度な英語		○		○
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	ESPⅠ(留学)	2	演習	これまでに身につけてきた英語力を基礎とし、留学に必要な知識と英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1310	ESPⅡ(地域)	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2310	アカデミックイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、アカデミックな場面を想定した高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3302	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。		○		○
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1311	英語インテンシブA	2	演習	留学に必要な基本的な英語のスキル(英語でのプレゼンテーションやレポート作成)を身につけ、実際に(語学)留学した際に現地の語学学校での英語の勉強についていけるように準備をする		○		○
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1312	英語インテンシブB	2	演習	英語の正しい発音や音のつながり、短縮といった法則を学ぶことで、リスニング力向上を目指す。		○		○
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1313	英語インテンシブC	2	演習			○		○
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1314	英語インテンシブD	2	演習			○		○
教養基礎科目	英語	1~4	選択	LAEG1315	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。		○		○
教養基礎科目	英語	1~4	選択	LAEG1316	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。		○		○
教養基礎科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1301	初修外国語入門Ⅰ	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。		○		○

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
教養基礎科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1302	初修外国語入門Ⅱ	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることを目標とする。		○		○
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL2301	初修外国語Ⅰ	2	演習	初修外国語入門Ⅰ・Ⅱを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰでは、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。		○		○
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL2302	初修外国語Ⅱ	2	演習	初修外国語Ⅰまで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰと同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。		○		○
教養基礎科目	初修外国語	2年次	選択	LAFL3301	初修外国語Ⅲ	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確かなものとしたうえで、より総合的に各国語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。		○		○
教養基礎科目	初修外国語	2年次	選択	LAFL3302	初修外国語Ⅳ	2	演習	初修外国語のⅢまでで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。		○		○
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1201	健康体育実技Ⅰ	1	実技	運動と健康などとの関係をより深く理解し、生涯にわたって運動するため、運動・スポーツを行う基礎的な技術・技能を知識とともに実践的に身につけ、健康的に体力を高めることを目標とする。		○		○
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1202	健康体育実技Ⅱ	1	実技	運動と健康などとの関係をより深く理解し、生涯にわたって運動するため、運動・スポーツを行う技術・技能を知識とともに実践的に身につけ、健康的に体力を高めることを目標とする。		○		○
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1101	健康体育演習	1	演習	運動と健康などとの関係をより深く理解し、健康な生活を送る方法を身に付けるために、健康科学的な知見を修得し、健康づくりに必要な実践力を高めることを目標とする。		○		○
教養基礎科目	健康体育	2～4		LAPH2301	スポーツⅠ	1	実技	健康とは、すべての人が願う心からだの状態であり、この条件のひとつとして、適度な運動習慣は欠かすことができません。そこで本授業では、共にゲームを楽しみながらスポーツの持つ価値に触れるとともに、必要な知識を習得すること、そして自ら運動を習慣として身に付けることをテーマとします。このような姿勢を身につけ、身体面と精神面での健康と社会的実践力を身につける。		○		○
教養基礎科目	健康体育	2～4		LAPH2302	スポーツⅡ	1	実技	テニスの実践を通して、その技術と知識を習得し、生涯スポーツへの契機となる。相手チームと競い合い、チームメイトと協力することにより、有能感や達成感を感じ、同じ目的を持つ仲間との協調性やコミュニケーション力を養う。		○		○
教養基礎科目	キャリアデザイン	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。 生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。 世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。 個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。		○	○	
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にもとごとを思考できるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1204	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合うかを考えることができるようになる。	○	○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1205	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なもの見方について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1206	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類および流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1207	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1208	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移住の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを通じて、現代社会を理解し考える力を養うこと。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1209	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1210	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会(コミュニティ)についての人文的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。	○	○		
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必	LADH1211	芸術論	2	講義	(第1～7回)クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 (第8～14回)舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが、数学Ⅲの授業を受けていない(または、数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった)学生を対象に、微分と積分の講義をします。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理科学の一面を理解できるようになる、(2)数学を専攻としない学生の素養として、数理科学の考え方の一端を理解できるようになる、の何れかが達成されることを目標とする。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことによって、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切な化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命(植物、動物、微生物)についてマイクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境応答や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身に付ける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関係する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようになる。我々が生活している環境がどのようなメカニズムで作られているのか、その科学的背景への興味・関心を抱ききっかけを得る。	○	○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化とについて、それぞれの概要、背景、成立原理を学び捉えて理解することを目標とする。	○	○		
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。	○	○		
教養展開科目	学際領域A(地域志向科目)	1～3	選必	LAIA0000	<各科目>		講義、 演習 又は実 習	対象物を理解する上で、それを様々な切り口から、多面的に理解することはその対象物の本質を理解する上で欠かせない視点である。 この学際科目では文系理系の垣根に囚われず、様々な分野から一つの対象物について深く学び、理解を深めることができる。特に地域志向科目では対象物を身近な物事に絞って、理解を深めることができる。	○	○		
教養展開科目	学際領域B	1～3	選択	LAIB0000	<各科目>		講義、 演習 又は実 習	対象物を理解する上で、それを様々な切り口から、多面的に理解することはその対象物の本質を理解する上で欠かせない視点である。 この学際科目では文系理系の垣根に囚われず、様々な分野から一つの対象物について深く学び、理解を深めることができる。	○	○		
教職等資格科目	教職教養科目	2～4	資格	TLPF1501	教育の原理	2	講義	この授業科目は、学校教員の免許状取得希望者を対象とし、教育職員免許法に定める「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」に該当する教職科目として位置づけられるものです。教育に関する原理的・歴史的なアプローチを中心としつつ、教育(学)に関する基本的な理解や認識を得ることを目標としています。	◎	◎		
教職等資格科目	教職教養科目	2～4	資格	TLPF1502	発達と学習	2	講義	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習過程に関する心理学の基礎的な知識を身につけ、各発達段階における子どもの心理的特性を踏まえて学習指導をおこなう上で基礎となる考え方を理解する。	◎	◎		
教職等資格科目	教職教養科目	3～4	資格	TLPF2501	教育と社会	2	講義	本科目は、教育を社会的、制度的、経営的に概観することで、現代日本における教育の現状や課題をより深く理解する手掛かりを身につけることを目標としています。授業は①教育行財政、②学校経営、③教育法制度から構成され、3人の担当者がオムニバス形式で実施します。	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDPR1101	教育実践学理論研究	2	演習	本講義は、教育実践学を専門的に学ぼうとする学生の皆さんが、最初に受講することとなる専門科目の一つです。設置の主な趣旨は、教育実践学という学問の世界へいざない、その研究を進めていくに際しての基本的な事柄を学んでいくことを目的としています。	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDPR1102	学校教育実践 I	1	実習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動を授業単位化するものです。体験のリフレクションを行う学校教育実践研究 I と合わせて、履修を行うことが必要です。	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDPR1103	学校教育実践研究 I	1	演習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動について整理するとともに、リフレクションを行ったり、関連するテーマ・実践について学習を深めるものです。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDPR1301	教育実践学特講 I	2	講義	教育・学習を学校教育領域に限定せず、地域社会や家庭での社会化場面をも対象として考察する。 特に地域社会における教育・学習については関連する施設や地域課題にかかわる学びを調査しながら、検討する。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDPR1302	生涯学習概論 I	2	講義	自分の生き方を社会との関わりの中で、見つめ直し、再創造し、広げていくために、生涯学習を身近で、不可欠なものにしていく。シンクグローバリー、アクトローカリーの精神から、生涯学習の核心に迫ります。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDPR1303	メディア教育実践学	2	講義	具体的な事例を通して、メディアを活用した教育についての理解を深め、メディアを活用した授業づくりの力量を形成することを旨とする。 □	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDPR1304	教職論	2	講義	教職に関わる法令や制度、教師の仕事内容、教師を取り巻く社会的環境などに対する理解を深めることで、教師という仕事の具体的なイメージをつかみ、「教育される」側から「教育する」側へと意識を変化させることを目指す。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDPR2301	欧米学校史	2	講義	この講義は、教育実践学専修の学生のための選択専門科目です。欧米における学校教育の成立と展開、それに関わる教育思想の歴史を学ぶことを通して、今日的な学校教育の姿とそこに内在する諸課題や諸問題をとらえるための歴史的な視座を得ることをねらいとします。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDPR2302	子どもをめぐる法と制度	2	講義	-	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDPR2303	教育哲学	2	講義	以下3点の知識・能力の獲得を目指す。 ・みずからの教育実践の根幹となる「ティーチング・フィロソフィー」を深化させる。 ・西洋を中心として主要な教育学者の思想を理解し、それらを説明できる。 ・哲学的な視点から現代の教育問題について論じることができる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～3年次	選択	EDPR2304	発達心理学 I	2	講義	1.乳幼児期の人間の心身発達の基礎知識を身につける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.子どもの発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2305	学校教育実践Ⅱ	1	実習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動を授業単位化するものです。体験のリフレクションを行う学校教育実践研究Ⅱと合わせて、履修を行う必要があります。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2306	学校教育実践Ⅲ	1	実習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動を授業単位化するものです。体験のリフレクションを行う学校教育実践研究Ⅲと合わせて、履修を行う必要があります。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2307	学校教育実践Ⅳ	1	実習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動を授業単位化するものです。体験のリフレクションを行う学校教育実践研究Ⅳと合わせて、履修を行う必要があります。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2308	学校教育実践研究Ⅱ	1	演習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動について整理するとともに、リフレクションを行ったり、関連するテーマ・実践について学習を深めるものです。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2309	学校教育実践研究Ⅲ	1	演習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動について整理するとともに、リフレクションを行ったり、関連するテーマ・実践について学習を深めるものです。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2～4年次	選択	EDPR2310	学校教育実践研究Ⅳ	1	演習	本授業は、教育実践学教室が行っている学校への訪問活動について整理するとともに、リフレクションを行ったり、関連するテーマ・実践について学習を深めるものです。	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDPR3101	教育実践学演習Ⅰ	2	演習	-	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDPR3102	教育実践学演習Ⅱ	2	演習	本授業は、教育学に関する知識と理解を習得し、それを発表・討議することを目的とします。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDPR3301	キャリア教育論	2	講義	授業中に紹介する参考文献、学習指導要領や教育振興基本計画を通して、キャリア教育に関する理論やねらいを理解する。 児童・生徒ならびに自分自身のキャリア形成の仕方をイメージできるようになる。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDPR3302	教育経営論	2	講義	【授業の到達目標】 現代教育の課題を認識し、今後の展望を論じることができるようになる。 【テーマ】 本授業では、教育に関する経営的事項に関する諸論点に着目しながら、「教育」を経営的観点から捉える視点を養うことを目的とする。具体的には教育政策の動向をつかむ過程で「チーム学校」に求められるものを認識した上で、海外の教育事情を参照しながら、今後の日本の教育経営の方向性について各自がイメージできるようにすることを目的とする。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDPR3303	教育実践学特講Ⅱ	2	講義	－	◎	◎		
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDPR3304	美的教育論	2	講義	(1)美的教育の基礎的な理論・歴史について概観し、理解すること (2)本講義を通じて、受講者が教員になった際に「美的教育」を学校／学級運営に取り入れ、よりよい教育の実現に貢献するために必要な知識を獲得すること	◎	◎		
専門科目	専修必修	4年次	必修	EDPR4101	教育実践学演習Ⅲ	2	演習	－	◎	◎		
専門科目	専修必修	4年次	必修	EDPR4102	教育実践学演習Ⅳ	2	演習	本授業は、教育学に関する知識と理解を習得し、それを発表・討議することを目的とします。	◎	◎		
専門科目	専修必修	4年次	必修	EDPR4103	教育実践学課題研究	2	演習	－	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEP1301	心理学入門	2	講義	高校までにはほとんど知識のない心理学についてその全体像を把握するとともに、心理学的に事象を考える基礎を養う。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEP1302	心理学統計法Ⅰ	2	演習	統計法の基礎的な考えを理解し、それによって対象の全体像を把握するとともに、不確実性のあるデータに対して根拠を持った結論が出し、それを研究・教育実践に活用できること	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEP1303	児童理解の方法	2	講義	児童・生徒の心理・行動を理解・評価・査定するための心理学的的方法について理解し、基本的な知識・技能を身につける。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEP1304	社会心理学	2	講義	社会心理学の基本的な考え方や概念を理解し、それらを基に社会的事象について考えたり説明したりできるようにする。 □	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEP2101	発達心理学Ⅰ	2	講義	1.乳幼児期の人間の心身発達の基礎知識を身につける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.子どもの発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEP2102	心理学基礎実験	2	実習	心理学における基礎的な実験をいくつか実際に行いながら、心理学実験の基本的な考え方、方法、分析の仕方、レポートのまとめ方について学習する。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEP2301	心理学統計法Ⅱ	2	演習	1)エクセルを活用しつつ、推測統計の基礎的スキルを身につける 2)ノンパラメトリック検定、多変量解析の概略を把握する	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEP2302	発達心理学Ⅱ	2	講義	1.児童期～青年期の人間の発達の基礎知識を身につける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.児童期～青年期の発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEP2303	心理検査・測定法	2	演習	①知能検査の理論を理解し、被験者に対して検査を実施し、その結果を解釈できるようになる ②代表的な心理検査の実施方法を理解し、被験者に対して実施し、その結果を解釈できるようになること ③それぞれの心理検査の特徴を理解し、テスト・バッテリーを組めるようになること ④心理アセスメント及び心理臨床に関連する倫理について近いすること	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEP2304	学校カウンセリング論	2	講義	今、学校教育の現場では、様々な教育臨床的課題が山積みしている。これらの問題への対処法として、学校カウンセリングの理論と実践に対する期待が高まっており、ニーズと対応領域は拡大してきている。この授業ではこうした現状を踏まえ、学校でのカウンセリング活動の実際について学ぶとともに、学習理論をベースとした子どもたちへの支援について理解を深めることとする。	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEP3101	学習カウンセリング	2	講義	この授業では、学習やそのつまずきの背後にある心理的なメカニズムやプロセスを理解し、個別、小集団、クラスレベルでの学習支援に必要な(心理学の)基本的な知識・技能を身につけることを目標とする。	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEP3102	発達臨床心理学	2	講義	①臨床心理学の理論を基盤として、児童生徒理解の視点を獲得する ②臨床心理学の理論、心理療法の技法を基に、児童生徒支援の方法を獲得する	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEP3103	認知心理学	2	演習	1)演習を通して人間の賢い振る舞いのプロセスとそのメカニズムに対する理解を深める 2)学習を含めた日常的な賢い振る舞いを記述・説明するスキルを磨くと同時に、科学的な目で人間の行動を見る目を養う。	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEP3104	学校心理学	2	講義	学校心理学の理論と技法に関する基礎知識を身につけ、学校現場において児童生徒が抱えるさまざまな問題に対して学校心理学的視点からの援助を検討することができるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEP3301	教育心理学実践研究Ⅰ	1	実習	教育から臨床までの様々な実践場面に関わり、教育実践上のスキルアップを図るとともに、そこから教育心理学上の問題点を発見および検討する力量を高める	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEP3302	教育心理学実践研究Ⅱ	1	実習	臨床から教育にいたる実践場面に参加し、教育実践のスキルアップを図るとともに、そこから教育心理学上の問題点を発見および検討する力量を高める	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEP3303	教育心理学演習	2	演習	心理学に関する論文を読むことで、心理学の方法論や最新の研究成果についての知識を深める。 基本的には、各教員の指導の下、指定した文献を毎週担当者が発表することで、3年次ミニ卒業論文や4年次の卒業論文に結びつくようなプレゼンテーションスキルの習得も目指す。また担当者の発表などに基づいて議論することによって、自分の考えを深めたり、他者の意見を取り入れながら物事を理解する力を身に付ける	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEC1101	幼児の健康と運動	1	演習	1.領域「健康」のねらい、内容、全体構造を理解する。 2.領域「健康」の指導上の留意点を理解し、適切な指導能力を習得する。 3.領域「健康」の指導について、小学校教育とのつながりを理解する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEC1102	幼児と表現ⅡA	2	演習		◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEC1103	保育内容総論	2	演習	(1)幼稚園教育の基本をふまえた幼稚園における指導の考え方を説明できる。 (2)幼稚園教育におけるPDCAサイクルとその内容について説明することができる。 (3)幼稚園における具体的な指導場面を想定し、短期の指導計画を作成することができる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEC1301	乳幼児教育学	2	講義	人間形成の根幹を培う重要な時期である乳幼児期の保育・教育の意義と特色について概説します。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEC1302	社会福祉	2	講義	「貧困」や「社会的排除」のなか生きる人々の状態と人権の理解を基盤として、社会福祉の理念と歴史、法と実施体系(関連する領域への理解を含む)などについて基本的な理解ができるようになることを目指すとともに、専門職の倫理と専門性・援助技術等の理解を深める。その際、単なる「知識」を得るような姿勢ではなく、自らの偏見や先入観などをふりかえり問い直しながら、この日本の政治や社会のなかで社会福祉がどう位置づけられているのか、しっかりと認識できる力をつけてほしい。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEC1303	子ども家庭福祉	2	講義	児童福祉の対象は、被虐待の状態にある子ども、「保育に欠ける」子ども、障害のある子ども、いわゆる「非行少年」等を中心としつつ、18歳未満のすべての子どもである。近年では、子どもだけではなく親への支援も児童福祉の重要な役割と見なされるようになり、子ども家庭福祉という言葉も使われるようになった。こうした幅広い領域における各施設や事業で行われている実践について、実態を知り、自ら探求でき、子どもの権利擁護・保障という視点から捉える力をつけることがこの授業の目標となる。そのために、児童福祉関係法規を読みこなしリテラシーや、メディアでも頻繁にとりあげられる問題について正確に読みこなしリテラシーも求められる。また、各施設での現状について調べるためには、文献などを探索し、まとめるリテラシーも重要となる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEC1304	家族関係論	2	講義	現代日本の家族が直面している問題を社会の変化に関連づけながら学習し、これからの家族関係のあり方について考えることをねらいとする。授業を通じて、これまで抱えている家族イメージから離れ、家族を見る方法を取得し、家族の実態についての理解を深めてほしい。	◎	◎		
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDEC1305	子育て支援	1	演習	保育者(保育士)の仕事は、子どもの保育だけではなく、その保護者の子育てへの支援を含むものとなっている。保育者(保育士)が、専門職として保護者に対して行う仕事の機能や役割、その専門性や倫理、現状や課題について学ぶことが本演習の目標である。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2101	幼児と言葉	1	演習	・言葉を育てる教材についての専門的な知識を身に付ける。 ・幼児の豊かな言語表現の基盤となる実践について理解する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2102	保育内容「言葉」の指導法	1	演習	・幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領の理解に基づき子どもの言葉の発達に合った援助ができる。 ・「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解した上で、言葉を育てる保育を構想できる。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2103	幼児と表現 I	1	演習	・子どもの造形活動を日々の生活や遊びとのつながりの中で総合的に捉え、その活動を生み出す環境づくりや援助の在り方について発達過程と照らし合わせながら理解を深めていくことを通して、保育内容「表現」領域のねらい及び内容を理解する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2104	保育内容「表現」の指導法 I	1	演習	・乳幼児の発達に応じた表現活動と鑑賞活動について具体的な実践と結びつけながら理解を深め、主体的かつ計画的に保育を構想する方法を身に付ける。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2105	保育内容「健康」の指導法	1	演習	(1)領域「健康」のねらい、内容、全体構造を理解する。 (2)領域「健康」の指導上の留意点を理解し、適切な指導能力を習得する。 (3)領域「健康」の指導について、小学校教育とのつながりを理解する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2106	幼児と環境	1	演習	(1)子どもを取り巻く環境と、子どもの発達にとつての意義を説明することができる。 (2)子どもの思考・科学的概念の発達について説明することができる。 (3)子どもの標識・文字等とのかかわりの発達を理解する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2107	保育内容「環境」の指導法	1	演習	(1)幼稚園教育の基本をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解している。 (2)子どもの発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。	◎	◎		
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEC2108	幼児と表現 II B	2	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2301	幼児と表現 II C	2	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2302	乳児保育 I	2	講義	①乳児保育が社会の中でどのような役割を果たしてきたのか、その歴史と課題を学び、乳児保育の意義と役割が理解できるようになる。②3歳未満児の発達と保育、環境のあり方、3歳未満児保育を取り巻く理論や思想を理解できるようになる。③よりよい3歳未満児保育の技術を身に付け、そのあり方について判断できるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2303	社会的養護 I	2	講義	親(実親)と暮らすことができない子どもを育てる児童福祉制度は、社会的養護と呼ばれる。 この講義では、社会的養護を必要とする社会問題について理解を深めるとともに、社会的養護の実態と課題について、特に当事者の立場から見てくる課題について理解を深めていくことを目標とする。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2304	発達心理学 I	2	講義	1.乳幼児期の人間の心身発達の基礎知識を身に付ける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.子どもの発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2305	幼児と表現IV	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2306	精神保健	2	講義	【到達目標】①人の心の仕組み、発達、動きについて理解できる。 ②心の危機状況下で現れる症状について理解できる。 【テーマ】①精神障害の概要を学ぶ。 ②精神療法的対応の基礎を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2307	社会的養護 II	1	演習	親(実親)と暮らすことができない子どもを育てる児童福祉制度は、社会的養護と呼ばれる。 この演習は、社会的養護 I で講義した内容を理解していることを前提に、施設における養護・養育や里親による養護・養育について、子どもの権利認識、子ども理解、子どもとつくる生活内容、子どもと関わる技能や知識、職員・里親としての倫理、子どもの権利を守る制度などの理解を深める。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2308	乳児保育 II	1	演習	1. 発育・発達の過程や特徴を踏まえた援助や関わり方について理解する。 2. 子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解する。 3. 乳児保育における配慮点について述べる事ができる。	◎	◎		
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEC2309	子どもの健康と安全	1	演習	1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する 2. 保育における衛生管理、事故防止、危機管理、災害対策について述べる事ができる 3. 子どもの体調不良等における適切な対応技術を習得する 4. 保育における感染症対策について理解する 5. 子どもの健康や安全に関する実施体制や保健活動の計画を立案できる	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEC3101	幼児と人間関係	1	演習	幼児の人間関係の発達や学びの過程を理解する	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEC3102	保育内容「人間関係」の指導法	1	演習	保育内容「人間関係」のねらい・内容を理解し、具体的に保育を構想する力を身に付ける	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEC3103	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	1	演習	幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「表現」に総括される音楽教育は子どもの心身の総合的な発達に寄与するものでなければなりません。人間としての表現の本質を理解し、子どもの育ちを理解し、保育全体を視野に入れた上でみずみずしい感性と豊かな表現力を持ちながら状況に応じて専門的なスキルを発揮しなくてはなりません。実際に自分で「やってみる」、そしてやっている自分自身をよく見つめ、振り返り、「考える」ことを通して、心と体と頭を総合的に働かせて、子どもの表現を受け止め、育てることのできる保育者を目指します。	◎	◎		
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEC3104	乳幼児理解の理論と方法	1	演習	検索なし	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3301	保育実習指導Ⅰ	2	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3302	保育内容指導法演習	2	演習	子どもの表現は、身体と深く結び付いてあらわれ、そこにはさまざまなイメージがはたらいています。この授業では、表現と身体性、動きとイメージといったことについて学びながら、保育者としての自分の身体を見つめ直していきます。同時に、身体を使ったさまざまな表現方法を知り、実際に動いてみることを通して五感を開き、子どもの表現を見取り、適切な援助のできるしなやかな身体を持った保育者を目指します。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3303	保育の計画と評価	2	講義	本授業の目標は以下の2点である。①カリキュラム編成・作成上の視点と方法、計画・実践・省察・評価という循環構造を理解する。②カリキュラム編成上の課題と歴史を概観し、保育者が問われている課題を積極的に考え	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3304	保育内容の研究特講	2	講義	幼児教育の研究法を学ぶ	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3305	子どもの保健	2	講義		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3306	子どもの食と栄養	2	演習	基本的な食と栄養の知識を理解し、説明することができる。幼児の食生活の特質が説明できる。児童福祉施設における食育プログラムを作成することができる。児童福祉施設において、食育プログラムを実践することができ	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3307	障害児保育	2	演習	保育現場には発達障害のある子どもをはじめとして、様々な気になる子がいま 園によっては加配を申請している子どもが全体の3割を超えているケースがあります 気になる子についての理解と支援は保育現場に入れば必要に迫られること間違いなしです	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3308	保育実習①	2	実習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3309	保育実習②	2	実習	居住型児童福祉施設の意義・機能・内容、子どものニーズや生活、職員の役割等について、現場での実践体験を通して理解する。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3310	幼児と表現Ⅲ	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3311	グローバル化と幼児教育	1	演習	本授業では、履修生らは多様化する地域社会の中で変貌する家族の価値観を把握し、就学前の幼児らを持つ親の教育観を理解し、幼児教育を広い視野から考え力を身に着ける。授業テーマは、国際化・多様化する地域社会が抱える課題と家族に及ぼす影響である。講義ではこれらの課題の根底にあるグローバリゼーション現象を、地域社会を介して家族の生活習慣に浸透していく過程から解説し、その知見を深められるようにする。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3312	幼児期の健康教育と安全教育	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3313	幼小の接続カリキュラムⅠ	1	演習	本授業では、課題となっている幼小の接続を滑らかに図ることができるようになることを目的とし、とくに、領域の環境に関する内容である、身近な自然や植物との触れ合いを通して、生命の尊さについて指導する上で必要とされる栽培の基礎を身に付けることをテーマとしている。	◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3314	幼小の接続カリキュラムⅡ	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3315	幼児と自然	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3316	幼児と生活文化	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3317	子どもの権利と幼児教育	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3318	保育者論	2	講義		◎	◎		
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDEC3319	子ども家庭支援論	2	講義		◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4301	幼児と表現ⅡD	2	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4302	幼児運動学	2	演習	幼児の体力、運動能力および運動発達などをどのように理解し、どのように指導すればよいかについて考察す	◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4303	保育実習Ⅱ	2	実習		◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4304	保育実習Ⅲ	2	実習		◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4305	保育実習指導Ⅱ	1	演習		◎	◎		
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDEC4306	保育実習指導Ⅲ	1	演習		◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDEL1101	初等学習開発学概論	2	講義	初等学習開発学専攻でどのような学びを行なっていくのか、なぜ重要なのかを探求し、現時点での考えを自分なりに説明できるようになる。自分の経験からくる信念や視野を見直し、今後の各自の学びの目標を設定する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDEL1102	確かな学力と資質・能力の育成	2	講義	-	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDEL1103	初等教育と教科を貫く課題Ⅰ	2	講義	21世紀の私たちの学校は、グローバル化や温暖化といった世界的な課題から地域における消費生活や産業、多文化、学校におけるいじめなど身近なものまで、持続可能な社会を構築するために克服しなければならない多様な課題に取り巻かれている。そうした多様な錯綜した課題に直面しながら、子どもたちとともに教育を行う教師には、様々な課題を鋭敏に捉え、適切な対応を行うことが求められる。そのために、総合的学習や道徳などはもちろん、あらゆる教科を横断して、教師にこそまず求められる資質、すなわち自らの課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を身につけることをめざす。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDEL2101	初等教育と教科を貫く課題Ⅱ	2	講義	「初等教育と教科を貫く課題Ⅰ」の成果の上に、さらにより深く教科を貫く諸課題を究明する。そして、あらゆる教科を横断して、教師に求められる資質、すなわち自らの課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を身につけることをめざす。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2～4年次	必修	EDEL2102	初等学習開発学PBLⅠ	2	演習	近年、グローバル化が進む中、地域社会の抱える課題が多様化・複雑化しており、解決困難な事例も数多くある。今の社会が直面する課題をどう解決すればよいのか。今まで培ってきた知識をどう活用したら解決につながるか。多くの知見が示すように、解決策には知識のみではなく解決過程に参画する実践的思考を持つのが重要である。本授業では問題発見・解決型学習方法を通して地域社会が抱える課題に取り組むと同時にこれらの問題にもとづいた学習過程を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDEL2301	学習科学	2	講義	主体的、対話的で深い学びとは何かを学習科学の知見に基づき説明することができる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDEL2302	学習者中心の授業づくり	2	講義	学習科学の知見に基づき学習者中心、知識中心、評価中心、共同体中心の学習環境のデザインの意義を説明することができる。その理解に基づき授業を設計することができる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDEL2303	多文化共生	2	講義	本授業の到達目標は、履修生らが世界の変動を地域の観点から学び、現代社会の諸課題を広い視野から考える力を身に付けることである。テーマは、国際化・多様化する地域社会が抱える現代的課題である。授業ではグローバル化現象を地域社会の課題から解説し、知見を深める。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDEL2304	生活と消費	2	講義	本授業は、小学校で生活や消費を教えるために、教養として必要な知識の習得を目指している。自らのモノの考え方を深めるとともに、学校で教えるための基礎的な枠組みを身につけて欲しい。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDEL2305	地域と世界の法	2	講義	小学校における学習課題として地域や世界の法に関わる諸問題をいかに取り上げるべきかを考える。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDEL3101	初等学習開発学演習Ⅰ	2	演習	—	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDEL3102	初等学習開発学演習Ⅱ	2	演習	—	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDEL3301	言語活動研究	2	講義	—	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDEL3302	メディア教育実践学	2	講義	具体的な事例を通して、メディアを活用した教育についての理解を深め、メディアを活用した授業づくりの力量を形成することを目指す。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDEL3303	学級担任の理論と実践	2	講義	—	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDEL3304	持続可能な地域社会と災害	2	講義	—	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDEL3305	国際交流学習研究	2	講義	学校教育において国際交流に取り組むための知識や課題内容を理解し、手法を獲得する。国際的な課題・情勢の動向や、自らの立ち位置の確認を含め、国際理解教育の広い視座から国際交流学習の企画を担えるようになるための基礎的な技能を習得する	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻選択	3～4年次	選択	EDEL3306	初等学習開発学PBLⅡ	2	演習	各種組織活動についてのデザイン力、およびその方法の開発力を形成する。企画の立ち上げからその運営に主体的に関わりながら、最終的な評価に至る総合的な学習の過程に参加し、その間の議論と調整を通して、教育実践への還元方法を考察する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1101	学校保健	2	講義	【テーマ】学校において、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うこと、自己や他者の健康の保持増進を図ることができるような能力を育成することなど、学校における保健管理と保健教育について学ぶ。 【到達目標】学校保健活動がどのような根拠及び枠組みにおいて実施されているかを理解するとともに子ども達の現代的な健康課題とその解決に向けた方法論にも触れることを通し学校保健全体像を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1102	養護学概論Ⅰ	2	講義	【到達目標】 1. 養護の本質、養護教諭制度の歴史と変遷などの基礎的な知識を理解することができる。 2. 養護教諭に必要とされる資質、職務と役割について理解することができる。 3. 保健室と機能と役割について理解することができる。 4. 養護教諭の職務推進の基本と実際についての基礎的な知識を習得することができる。 【テーマ】 養護教諭の歴史や職制の形成史をふまえた上で養護教諭の専門性、職務と役割の基本、保健室の機能・経営について学習することにより目指す養護教諭像をイメージする。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1103	衛生学及び公衆衛生学	2	講義	<授業の目的> 中学校保健体育の保健分野の内容である「健康と環境」および「健康な生活と疾病の予防」について、衛生学の観点からその理論と実際を理解することが本授業の目的である。併せて、私たちの体の素晴らしさを再認識し、健康観の見直しをする。 <授業の到達目標> ・空気・水・日光と健康との関係について環境生理学的に理解することができる。 ・日常の保健行動と健康との関わりが理解でき、そのための生活習慣を身につけることができる。 ・感染症と生活習慣病の成立要因が理解でき、予防対策を立てることができる。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1104	学校救急法概論	2	講義	1. 傷病等に対する応急手当の基本を説明できる 2. 応急手当および搬送の技術を習得する	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1105	解剖生理学	2	講義	【到達目標】人体の正常構造と機能を知ることにより、健康管理・教育者としての医学的基礎知識と実地対応能力を身につける。加えて、主要な臓器・器官の異常に関連する疾病を学び、健康維持の重要性を認識することができる。 【テーマ】人体の主要な臓器・器官の解剖学的位置と生理学的機能を習得する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1106	栄養学	2	講義	・健康な生活を営むために、食が果たす役割について多角的視点から考えられるようになる。 ・食品に含まれる栄養素や生理機能性物質の消化・吸収の仕組みを身につける。 ・各栄養素の代謝について、相互の関係性を理解できるようになる。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSH1107	微生物学	2	講義	微生物の基礎、主な病原性微生物と感染症について理解し、感染防御対策を身に付けることができる。特に、微生物とヒトとのかかわりを理解し、病原性微生物に起因する感染症についての専門的知識と予防対策について学ぶ。さらに、アレルギーについても専門的知識の習得し、その対応について学ぶ。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻選択	1年次	選択	EDSH1301	養護学概論Ⅱ	2	講義	【到達目標】 1. 学校保健に関わる教職員の役割を理解し、組織の中での養護教諭の職務と役割について理解することができる。 2. 養護教諭の職務全般について、PDCAサイクルに基づき理解することができる。 3. 養護教諭の職務に関わる教育法規と執務との関連性、学校保健情報の取り扱い、公務文書の知識について理解することができる。 【テーマ】組織の中での養護教諭の役割や教育職としての専門性を理解するとともに職務全般について計画と評価の実施や職務に関わる教育法規及び公文書の取り扱い、個人情報の保護等の保健事務についての知識を習得し実践的な理解を深める。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	1年次	選択	EDSH1302	学校保健活動演習	1	演習	【到達目標】 1. 学校保健の基礎知識が実際の学校保健活動においてどのように活かされていくのか実践的に理解することができる。 2. 学校保健情報(児童生徒の発達課題)の学校保健活動への生かし方を実践的に理解することができる。 3. 学校保健計画、学校安全計画、食育推進計画、環境衛生活動計画の作成・立案・評価について実践的に理解することができる。 4. 学校保健委員会の運営方法について実践的に理解することができる。 【テーマ】学校保健の知識に基づき学校保健計画、学校安全計画等の立案、作成、学校保健委員会の運営等の学校保健活動の実際について演習、グループワークを通じて実践的に学習する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	1年次	選択	EDSH1303	臨床医学概論	2	講義	【到達目標】①各臓器別に、代表的な疾患について理解できる。 ②学校保健における養護教諭の役割を理解できる。 【テーマ】①養護教諭に必要な臨床医学を学ぶ。 ②症状から診断、治療までの経過を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSH2101	予防医学	2	講義	到達目標 (1)健康増進のための生活行動のあり方について理解することができる。 (2)疾病予防のための理論と対策を身に付けることができる。 (3)生涯を通じた健康づくりのための自己管理能力を身に付けることができる。 テーマ 健康の増進、感染症や生活習慣病の予防など予防医学の第一次予防に焦点を置き、その内容と手段を理解し、生涯を通じた健康づくりのための自己管理能力を磨く。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	選択	EDSH2102	精神保健	2	講義	【到達目標】①人の心の仕組み、発達、動きについて理解できる。 ②心の危機状況下で現れる症状について理解できる。 【テーマ】①精神障害の概要を学ぶ。 ②精神療法的対応の基礎を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSH2103	健康相談論	2	講義	【到達目標】 学校健康相談に関する基礎的な専門的力量を形成する。 1. 学校における健康相談の法的根拠や教育活動における現代的課題を述べることができる。 2. 養護教諭が行う健康相談の専門性や独自性について述べるすることができる。 3. 健康相談を進めていくための具体的な方法を修得し対応することができる。 【テーマ】現代の急激な社会背景の中で、いじめや不登校、薬物乱用、性の逸脱行動、生活習慣病、新たな感染症の出現等、児童・生徒の健康の維持・増進を阻害する深刻な要因が増加している。養護教諭は児童・生徒の心身の健康問題にいち早く気づくことのできる立場にある。養護教諭の職務の特性や保健室の機能を生かした健康相談活動の基礎・基本を学び、理解することを目的とする。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSH2104	学校看護学	2	講義	1. 学校看護について理解する 2. 特別な支援を要する子どもの理解と支援について理解する	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSH2105	臨床医学各論 I	2	講義	各診療科における疾患の概要と主な疾患の病態・診断・治療の基本的・初歩的な内容について理解できる。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSH2106	臨床実習 I	2	実習	1. 医療施設の目的、役割、機能について説明することができる。 2. 入院中の子どもの身体状況および日常生活状況を観察することができる。 3. 子どもに応じた日常生活の援助方法について考察することができる。 4. 退院後の子どもに対する保健管理の方法について検討することができる。 5. 実習生として責任ある行動をとることができる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2301	運動生理学	2	実習	保健体育教育専修の必修の講義です。養護教諭養成課程、スポーツプロモーションとしての講義になります。運動生理学は子どもの発育発達、加齢による機能衰退現象、運動およびスポーツが身体に及ぼす影響を理解するうえで極めて重要な分野です。特に保健体育、養護教諭の教員やスポーツ指導者、スポーツを通じた地域づくりを目指す人にとっては必要不可欠な理論です。身体活動が生体に及ぼす効果について形態面と機能面から学び、健康の保持増進のために身体活動が果たす役割、競技力向上やトレーニングの方法についての理解を深めましょう。本授業では解剖学、測定学および運動生理学の各分野における基本的理論について理解し、身体各器官の働きや運動機能の応答と適応についての基礎的メカニズムを修得します。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2302	健康相談演習 I	1	演習	【到達目標】 1. 健康相談の進め方及び学校内外の関係機関及び他職種との連携、支援体制づくりについて模擬ケースを通じて実践的に理解することができる。 2. ケース会議の持ち方や、健康相談の記録の仕方などについて実践的に学ぶことができる。 3. 保健室頻回来室者の背景要因について類推し支援計画を立てることができる。 【テーマ】 「健康相談論」で学習した基本的な考え方とその進め方を踏まえ、健康相談の進め方及び学校内外の関係機関及び他職種との連携、支援体制づくり、ケース会議の持ち方等、健康相談の実践力を高める。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2303	学校環境衛生	2	講義	到達目標 学校における環境衛生の目的を知り、学校環境衛生基準に伴う検査項目と検査方法について理解し、その手順を身に付ける。 テーマ 児童・生徒及び職員の健康の保持増進、疾病予防、学習活動の能率の向上を図るための学校環境衛生についての理解を深め、良好な環境の維持とその改善のための方法と実践的な手順を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2304	学校看護学演習	1	演習	1. 学校看護に必要な基本的技術を習得する 2. 特別な支援を要する子どもの支援方法について提案できる	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2305	養護教諭の活動の実際 I	2	講義	1. 健康診断の基礎知識をふまえ、計画、実施、評価について実践的に理解することができる。 2. 保健室経営計画の目的を理解し、学校教育目標や学校保健計画や学校安全計画と関連づけながら計画の立て方について実践的に理解することができる。 3. 危機管理のシミュレーションを通して危機管理体制の実際について実践的に理解する。 4. 文書管理の具体的な方法を理解すると共に引き継ぎの留意事項について理解することができる。 【テーマ】養護教諭の職務の保健管理の健康診断、保健室経営計画、危機管理、文書管理について演習を通じて実践的に理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2306	学校救急法演習	1	演習	1. 傷病等に対する適切な判断を行うために必要な知識・技術を習得する。 2. 応急処置後の観察および保健指導の必要性について理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSH2307	臨床医学各論 II	1	講義	1. 小児科、精神科における主な疾患の概要、診断・治療の基本的な内容について理解する。 2. 小児看護、母子・母性看護に関連した基本的な内容について理解する。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSH3101	臨床実習Ⅱ	2	実習	1. 児童福祉施設等の目的、役割、機能について説明できる。 2. 子どもと寝食を共にすることで、子どもの理解を深めることができる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSH3301	学校健康教育	2	講義	学校健康教育の推進のための必要な知識を身に付ける。学校保健委員会や特別活動・保健指導等での健康教育を充実させていくための方法を理解できる。現代の子どもの健康・安全を脅かす可能性のある社会環境にも意識を向けることができ、ヘルスプロモーションの観点を踏まえ、その改善・解決に向けた方法論についても理解できる。 学校健康教育の推進のための必要な知識を習得するとともに、学校保健委員会や特別活動・保健指導等での健康教育を充実させていくための方法論について学ぶ。また、現代の子どもの健康・安全を脅かす可能性のある社会環境についても検討する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3～4年次	選択	EDSH3302	歯科保健	2	講義	【到達目標】歯、口腔の構造やしぐみや幼児期から老年期までの各成長段階における歯周病や口腔ケアについての基礎的知識を習得することができる。 【テーマ】歯、口腔の構造やしぐみについての基礎知識を習得するとともに歯周病やう歯は、身体の上さまざまな病気も引き起こす原因菌であること、また生涯にわたり快適な食事が出るためにも、定期的なプロフェッショナルケアを受ける習慣を身に付ける重要性を学ぶ。さらに加齢に伴うさまざまな口腔機能低下の危険性、咀嚼と脳の関係、歯周病と全身疾患の関係などについても学習するなど乳幼児から老年期の口腔ケアについての基礎知識及び保健指導方法を学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSH3303	養護教諭の活動の実際Ⅱ	2	講義	到達目標 1. 保健教育の基礎知識をふまえ、集団と個別で行う保健学習及び保健指導、啓発活動について実践的に理解することができる。 2. 学校保健委員会の目的を理解し、テーマ設定の方法、計画、立案、準備、評価について模擬委員会を通じて実践的に理解することができる。 3. 実践を研究につなげていく方法及び研究計画書作成過程について理解することができる。 【テーマ】養護教諭の職務の保健教育、学校保健組織活動及び養護教諭の実践を研究に活かす方法について実践的に理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSH3304	保健統計学	1	講義	【到達目標】 ①統計的な手法による基本的な処理ができる。 ②健康に関わる情報の扱い方に関して理解できる。 【テーマ】 ①統計的な知識と技術について学ぶ。 ②健康にかかわるデータに関して学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSH3305	学校安全と危機管理	2	講義	学校で遭遇するリスクについて理解を深めるとともに、自ら安全教育の実践を生み出せる基礎を確立する	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3～4年次	選択	EDSH3306	学校保健と学校経営	2	講義	【到達目標】 1. 現代学校の制度・経営の基本理解をふまえ、学校職員や学校関係者・地域関係者をチーム学校・地域学校として捉えることができる。 2. 学級担任の役割を理解するとともに、具体的事例をもとに、養護教諭として連携協力関係を構築していく知識と技法を身に付けている。 【テーマ】 組織的な学校保健活動を推進していくための学校経営に関わる基礎知識を習得すると共に、養護教諭の専門性を学校保健活動全体に生かすためのマネジメントについて実践的に理解する。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻選択	3～4年次	選択	EDSH3307	特別支援教育と保健教育	2	講義	【到達目標】 1. 特別支援教育における専門的知識について理解を深めると共に養護教諭の役割と専門性について説明できる。 2. 特別に配慮を要する児童生徒への保健管理及び保健教育の留意点について理解し、様々な場面においての具体的な支援方法について述べる事ができる。 3. 障害児の身体及び心理についての理解を深め、さらに、自立に向けての教育的支援について特別支援学校での臨床実習と関連付けながら考えることができる。 【テーマ】特別支援教育に関わる専門的知識をもとに特別支援教育における養護教諭の役割、専門性について学習する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	4年次	選択	EDSH4301	健康相談演習Ⅱ	2	演習		◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSP1101	特別支援教育概論Ⅰ	2	講義	この講義は、特別支援学校教諭の免許状を取得する場合の「特別支援教育に関する科目」のうち、「特別支援教育の基礎理論に関する科目」に該当するものです。特別支援教育の仕組みや特別支援教育の実際について、基本的な理解を得ることをねらいとしています。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSP1102	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	講義	特別支援教育免許状を取得する場合の、「特別支援教育に関する科目」のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目に該当するのが、この授業である。この授業では、肢体不自由者について、心理および生理・病理からの理解を深めることが目標である。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1年次	必修	EDSP1103	知的障害者指導法	2	講義	特別支援学校教諭の免許状を取得する場合の「特別支援教育領域に関する科目」のうち、「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目」に該当するものがこの授業科目である。知的障害者教育における授業を中心に、教材・教具、領域・教科を合わせた指導、自立活動などの点から、児童・生徒の発達を促す指導・支援の在り方について理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1～2年次	必修	EDSP1104	知的障害者の生理・病理	1	講義	知的障害の生理・病理に関する知識を学び、その特性や基本症状が個々の児童・生徒の学校生活にどのような制約を与えうるかを理解し、特別な教育的支援の方策と課題について考察する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	1～2年次	必修	EDSP1105	病弱者の生理・病理	1	講義	小児慢性疾患の生理・病理に関する知識を学び、その基本症状や療養生活が個々の児童・生徒の学校生活にどのような制約を与えうるかを理解し、特別な教育的支援の方策と課題について考察できるようになる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	1年次	選択	EDSP1301	障害児心理検査法演習	2	演習	特別支援学校の教員は障害のある児童生徒の行動面の問題や学習面の困難の原因を探るうえでの重要な道具である心理検査、とりわけ知能検査についての知識や技能を身につけることが期待されている。この授業では、そうした心理検査に関する基礎的な知識や技能の習得をめざす。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSP2101	知的障害教育課程論	2	講義	特別支援学校教諭の免許状を取得する場合の、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目である。特別支援学校(知的障害)における教育課程の目標および内容、さらに授業づくりにあたってのポイントを理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSP2102	肢体不自由教育	2	講義	①肢体不自由者に対する教育の変遷や特性の理解に基づく指導について理解を深める。 ②肢体不自由教育の課題に対して主体的かつ論理的に考え、自分の言葉で説明できる。 ③教育現場で仲間と協働できる態度やコミュニケーション力を身につける。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSP2103	視覚障害教育	1	講義	視覚障害者の心理・生理・病理の基本的事項について理解を深めた上で、視覚障害教育の歴史の変遷と盲教育・弱視教育の体系について概要を把握することを目標とする。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻必修	2年次	必修	EDSP2104	聴覚障害教育	1	講義	特別支援教育免許状を取得する場合の、免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目および心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目に該当するのが、この授業である。この授業では聴覚障害者の教育について、理解を深めることが目標である。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSP2301	障害児情報処理演習	2	演習	この授業では、特別支援学校等の教育現場においても必要不可欠ともいえるパーソナル・コンピュータの基本的な操作方法を習得することを目標としています。併せて、データの収集方法や分析方法、プレゼンテーションや研究報告書の作成についても学習します。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	2年次	選択	EDSP2302	障害児地域・家族支援論	1	演習	障害のある子どもを育てる際に、家族や地域との協働、連携は欠かせない。また場合によっては家族への支援が必要である。この授業を通してこのような問題について理解を深めてもらいたい	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3101	知的障害者の心理	1	講義	この授業では、知的障害のある子どもの心理学的側面についての基本的な理解を得ることをねらいとしています。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3102	病弱教育	2	講義	①病弱者に対する教育の変遷や特性の理解に基づく指導について理解を深める。 ②病弱教育の課題に対して主体的かつ論理的に考え、自分の言葉で説明できる。 ③教育現場で仲間と協働できる態度やコミュニケーション力を身につける。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3103	重複障害教育	1	講義	①重複障害の概念・定義とその教育課程の取り扱いについて説明できる。 ②重複障害教育の目的・意義について説明し、個々の特性に応じた指導方法を提案することができる。 ③学習上・生活上の困難について把握する視点を持ち、留意点や支援の工夫を挙げることができる。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3104	LD等教育総論	2	講義	この講義は、特別支援学校教諭の免許状を取得する場合の「特別支援教育に関する科目」のうち、「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」に該当するものです。学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、情緒障害、言語障害等の子どもたちに対する理解と対応についての基本的な知識を得ることをねらいとしています。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3105	病弱者の心理	1	講義	特別支援教育免許状を取得する場合の、「特別支援教育に関する科目」のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目に該当するのが、この授業である。この授業では、病弱者について、心理面からの理解を深めることが目標である。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3106	肢体不自由者の自立活動	2	講義	特別支援教育免許状を取得する場合の、「特別支援教育に関する科目」のうち、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目に該当するのが、この授業である。この授業では、肢体不自由者の自立活動について、理解を深めることが目標である。	◎	◎		
専門科目	専攻必修	3年次	必修	EDSP3107	特別支援教育実習(事前・事後指導を含む。)	3	実習	-	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSP3301	障害児保育	2	演習	保育現場には発達障害のある子どもをはじめとして、様々な気になる子がいいます 園によっては加配を申請している子どもが全体の3割を超えているケースがあります 気になる子についての理解と支援は保育現場に入れば必要に迫れること間違いなしです	◎	◎		
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSP3302	障害児教育体験演習	1	演習	特別支援学校や特別支援学級に観察に赴き実際の教育の様子を理解する	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専攻選択	3年次	選択	EDSP3303	特別支援教育概論Ⅱ	2	講義	特別支援学校教育の免許を取得する場合の「特別支援教育に関する科目」のうち、「特別支援教育の基礎理論に関する科目」に該当するのがこの授業である。この科目では、主に知的障害特別支援学校における授業づくりと学習指導案作成の基礎について学ぶ。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	4年次	選択	EDSP4301	障害者生活支援論	2	講義	特別支援学校における個別の指導計画及び個別の指導計画の作成の手順がわかり、模擬において作成することができる。また、障害者総合支援法を理解し、児童生徒が利用している福祉サービスや将来にわたって利用する福祉制度について理解する。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	4年次	選択	EDSP4302	障害児アセスメント演習	2	演習	特別支援教育において実態把握が重要なのは言うまでもありません。この授業では、実際に演習を通してアセスメントとは何かについて学んでいただきます。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	4年次	選択	EDSP4303	障害児発達援助演習	2	演習	①医療を必要とする児童生徒への指導や配慮の在り方について説明できる。 ②学校と医療との連携について、その取り組みと課題を説明できる。	◎	◎		
専門科目	専攻選択	4年次	選択	EDSP4304	発達障害者指導演習	2	演習	発達障害のある児童のもつ学習困難や社会性の問題、そして感情コントロールの困難に対してどのようにアプローチしていけばいいのか、実際の活動を通して具体的な方法論について学習する。	◎	◎		
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDJL1101	国語学概論(音声学を含む。)	2	講義	<授業の目的> 日本語学(国語学)全般の基礎的な知識を身につける。 <到達目標> 1. 日本語を、'正しく運用するための規範'としてではなく、ひとつの言語として客観的に観察できる。 2. 言語とはなにかを理解し、その一つである日本語がもつ特色を、自分の言葉で説明できる。 3. 日ごろ接する日本語に対して、自然と語学的な立場からの視線を向けられる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDJL1102	漢文学概論	2	講義	漢文学は長い歴史を有し、わが国の文化にも多大の影響を及ぼしてきた。しかし一般にそれに対する認識はごく一部の文献によって形成された感が強い。本講義では広い視点に立って文学・思想・史伝という三つのジャンルを概観し、あわせてこれらの根底に流れる漢字文化圏の人々のものの考え方と漢文・漢語表現のありようを考察する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDJL1103	書写基礎	2	演習	小中学校国語科書写の内容を講義と実技を通して理解し、書写の原理を把握する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDJL1104	国文学概論(国文学史を含む。)	2	講義	明治から昭和までの各時期の複数のジャンルの作品に触れ、国文学および国文学史に関する基礎的な事項を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1～2年次	選択	EDJL1301	書道史概論	2	講義	書を人類の発達や文字としての側面との比較を踏まえながら史的に考察し、文化的・芸術的意義を理解する。		◎	◎	
専門科目	教職選択	1年次	選択	EDJL1302	国語科教育実践論	2	講義	現行学習指導要領の重点項目である「各教科等における言語活動の充実」についてその背景と内容を理解するとともに、小・中学校国語科における授業実践例を検証し、教材研究・学習材開発の方法を理解することにより実践への知見を得る。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDJL2101	近現代文学研究	2	講義	夏目漱石の長篇小説『こころ』・『彼岸過迄』・『道草』の精読を通じ、小説を読解するための方法を身に付ける。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDJL2102	古典文学研究	2	講義	この授業では、奈良時代から江戸時代までの様々なジャンルの代表的な日本古典文学作品を読んでいくことで、日本古典文学に関する基礎的知識を身につけ、その特質を理解できるようにします。初等・中等教育において古典文学を扱うために必要な研究上のトピックも、あわせて学びます。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDJL2103	漢文学講読 I	2	講義	漢文学のうち特に漢字と史伝に焦点を当てて考察する。漢字の概観を考察し漢字の特質を理解するとともに漢字の豊かな表現力を学ぶ。また漢字表現が多様にあらわれている中国の史伝文献を講読することを通して、様々な人物が活写されている史伝の特性を学ぶとともに、漢字表現の豊かさを理解する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDJL2104	文章表現研究	2	講義	<p><授業の目的> 日本語学(国語学)的な物の見方を養い、かつレポート作成の基本的な技術を身につける。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員を目指す者として、いわゆる「日本語の乱れ」や「誤用」の実態を知る。 2. 日本語の規範に照らして、なぜそれらが「乱れ」や「誤用」とされるのかが説明できる。 3. それぞれの場合において、「乱れ」や「誤用」が起きる理由を説明できる。 		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDJL2105	書写研究	2	演習	書写書道の基本である楷書を習得した次の段階として、中学校国語科書写において学習する「行書」を取り扱う。「行書」は、書道史研究の成果として楷書の速書用として変容した書体ではないと確認されているが、楷書を先習していることとの関連から、その整齊さという系統性を踏まえて学習を進める。		◎	◎	
専門科目	教職選択	2年次	選択	EDJL2301	国語科教材論	2	講義	中学校教材についての理解を深め、教材研究・学習指導それぞれに関する実践的知見を得る。以上の学習を通して、教材研究・授業構想に関わる基礎的能力を伸長する。		◎	◎	
専門科目	教職選択	2年次	選択	EDJL2302	書道科教育法 I	2	講義	学校教育における“文字を書くことの教育”すなわち小中学校における国語科書写及び高等学校芸術科書道での指導のあり方について考える。Iでは書写を中心に取り上げる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDJL3101	語彙論	2	講義	<p><授業の目的> 言語の基本的単位である「語」が、日本語においてどのようなまとまりを形成しているかを理解する。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語学(国語学)の領域において、「語」のどのような面が研究対象となりうるのかを説明できる。 2. 自らの内省に基づき、語の用いられ方や意味関係を分析できる。 3. 他者のアイディア・意見を取り入れ、自らの発表内容を修正し再構築することができる。 		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDJL3102	国語科教科内容指導論 I	2	講義	小・中学校国語科の内容について概要を理解する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDJL3103	国語科教科内容指導論 II	2	講義	小・中学校国語科の内容について理解を深める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDJL3301	国語法研究	2	講義	<p><授業の目的> 国語科で学ぶ文法(学校文法)とは異なる観点から日本語を分析することで、言葉に対する理解を深める。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現実に話されている日本語を観察し、それをデータとして日本語のしくみを考えることができる。 2. 個々の文法的事実について、単に暗記するのではなく自分で例を挙げながら説明できる。 		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDJL3302	国文学講読 I	2	講義	-		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDJL3303	漢文学研究	2	講義	漢字文化圏の思想形成に影響の大きい中国先秦時代の諸子百家の思想と、宋の朱子、明の王陽明の学問について、それぞれ思想の学説理解を通してその特質と現代的意義などを考察する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDJL3304	書道研究	2	演習	書写としての楷書・行書以外の書道史上の代表的な古典の臨書と創作を行い、漢字書の実感を感得する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDJL3305	書論・鑑賞研究	2	講義	身近に書作品を目にする機会が多い人でさえ、書の芸術性を認めながらも、どのように作品を鑑賞したら良いのか躊躇してしまう。それは、何を基準にして良いのか、確たる物差しを持っていないからである。そこで、本講座は、「鑑賞の手引き」となる内容を中心に講義する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDJL3306	書道史調査実習	2	実習	書道系の博物館や書展での鑑賞を通して書道史を辿るとともに、書文化を支える文房四宝(墨・紙・筆・硯)などについて、体験を通して理解を深める。、国語を専門とする学生にとって、書や文字文化のルーツを知ることは重要である。学芸員資格科目にもなっている。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDJL3307	国語科教育法Ⅰb	2	講義	本講義では、小学校における国語科の授業において「国語を正確に理解し適切に表現する能力を育てるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に関する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」ためには、どのような研究が必要となるのかを明らかにする。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDJL3308	書道科教育法Ⅱ	2	講義	高等学校芸術科書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおける目標・内容等について明らかにする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDJL4301	国語学研究	2	講義	<授業の目的> 中古語の文法体系を理解し、それがいかにして現代語へと連なっていくのか、両者をつなぐ中世語の様相を確認しながら考察する。 <到達目標> 1. 国語学の専門的知識を獲得する。 2. 言語変化について自身の仮説を立て、実証できるようになる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDJL4302	国文学講読Ⅱ	2	講義	-		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDJL4303	漢文学講読Ⅱ	2	講義	『十八史略』を講読し、主要な中国の故事を学ぶ。また適宜『十八史略』の補いとして『史記』などの講読を行う。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDJL4304	国語科教育特講	2	講義	国語教育学研究は、大きく理論的研究領域と実践的研究領域とに区分することができる。本講義では、先行研究論文の考察を基盤に据え、ゼミ形式で考究を進めていくものとする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1101	日本史概論Ⅰ	2	講義	中学校および高等学校での学習範囲を基準として、日本の近代史についての基礎的知識を学びます。とりわけ本授業では、今日にいたる日本近代の国家と社会のありようを、植民地、アイヌ、沖縄、ジェンダー、被差別部落などのマイノリティなどにも留意しつつ、さまざまな観点から、問い直してみたいと考えています。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1102	日本史概論Ⅱ	2	講義	中学校および高等学校での学習範囲を基準として、日本の前近代文化史についての基礎的知識を習得することを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1103	地誌学概論	2	講義	本講義は、1年次に開講されることもあり、地理学の入門としての性格が強い授業である。高等学校で「地理」に触れることの少なかった受講生が、地理を学ぶために必要な能力を身につけることを目標とする。受講生自らが我が国の諸地域に関する調査を行い、発表することを通して、地域性を見出すことができるようにする。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1104	法律学概論(国際法を含む。)	2	講義	<ul style="list-style-type: none"> 憲法は国家権力を制限して国民の権利を守るものだと理解する。 統治機構を学ぶことで日本の政治システムを理解する。 社会に出たときに法の知識と論理をもって自分の身を守るようにする。 		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1105	経済学概論(国際経済を含む。)	2	講義	現代の私たちの経済活動は極めて複雑であり、直ちにその全体像を把握するのは困難です。とはいえ、全く無秩序に運行されているわけではなく、ある基本的な原理が存在します。この授業では、資本主義と呼ばれるその原理を理解することを、主なねらいとしています。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1106	宗教学概論	2	講義	社会の世俗化が進んで私たちの生活と宗教との関係は希薄化しているように一見、思われる。だが一見、宗教と無関係に見える現象でも、実は宗教的背景があるケースは少なくない。またグローバル化の一方で宗教的対立が問題化したり、あるいは靖国への首相参拝問題のような対外的にも論議を呼ぶ問題の存在も見逃せない。授業はディベート形式を取り入れつつ、こうした問題にたいして自ら調べ、発表し、レポートとしてまとめる作業を行い、大学での勉強の基本姿勢を培うことを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1107	外国史概論 I	2	講義	ヨーロッパの主な諸国家の歴史、戦争と国家の関係を学習する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1108	地理学概論 I	2	講義	南アジアを事例地域とし、自然環境と生活・文化の関りを理解することを通して、世界の諸地域の特徴を掴むための基礎的な方法を習得する。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1109	地理学概論 II	2	講義	本講義では、人文地理学の視点や研究方法の理解を通じて、受講者自身の社会科教員としての資質を高めるとともに、地域における人間活動の特徴や課題を把握し、地域問題の解決へ向けたあり方を考える力を養う。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSS1110	哲学概論	2	講義	中学校社会科公民的分野の目標や内容の中で登場する「公民」「自由」「民主政治」「尊厳」などの概念は、哲学の一分野である政治哲学における主要な研究対象である。こうした諸概念に関する政治哲学者たちの見方を理解することで、公民的分野の授業を行う上での基礎的素養を身につけることが、本授業の目標である。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2301	外国史特論 I	2	講義	東アジアにおける文明の成立と王朝国家の展開を政治・文化の両面から理解することを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2302	外国史概論 II	2	講義	新学習指導要領では、高校世界史Aの廃止と同時に中学校歴史分野の時間増が行われます。これは高校の必修内容が中学に「下りてくる」こととなります。その際に一般的な中学校教員が最も苦手とする分野であろうアジア各地域の歴史が「飛ばされる」ことが予想されます。この授業は、教員の基礎知識の欠落による「飛ばし」を少しでも減らすことを目的とし、そのような教員にならないための基礎的知見を習得することを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2303	地理学特論 I	2	講義	本講義は、我が国の農山村の社会経済を通して我が国の地域システムを多面的に検討することを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2304	地理学特論 II	2	講義	本講義では、現代のトピックを取り上げながら地域と地方自治の関係を理解し、地方自治を地理学から取り上げる視点を受講者自身が考えたと共に、受講者自身が今後望ましい地方自治の姿を展望することを旨とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2305	法律学特論	2	講義	<p>細かな専門知識ではなく、大学生に相応しい「教養」を、「法学」という切り口から、受講者の一人ひとりに提案することが、本授業の目標です。</p> <p>全15回の講義を受講した後、受講者の一人ひとりが、「市民」として自覚的、批判的に思考できるようになること、これが本授業の到達点です。</p>		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2306	経済学特論	2	講義	経済学概論では、抽象度の極めて高い、原理論レベルで資本主義経済のしくみについて学びましたが、この授業では歴史具体的に、日本を対象として、資本主義経済の成立・発展過程について検討することを目的としています。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2307	社会学特論	2	講義	この授業では、社会学の理論や概念、方法を身に付けながら、地域社会で生じている諸問題の背景と、解決に向けて取り組む人々のライフストーリーを、調査活動によって明らかにすることができるようになることを目標とします。具体的には、次の4つを達成できるようにすることを目指します。 1. 社会学の理論や概念を通して、社会事象を考察することができる。 2. インタビュー調査の方法を身に付け、ライフストーリーの聴き取りができる。 3. 言説分析の視点と方法を理解し、社会問題がどのように捉えられてきたかを分析することができる。 4. 調査活動を通して探究した成果を、グループで発表するとともに報告書にまとめることができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2308	民俗学概論	2	講義	地域社会への理解を深め、教材化することができる力を、フィールドワークを交えながら培うことを目標とする。合わせて問題発見をして仮説を立てながらフィールドワークを実施する力に加え、メールなどで実際に調査依頼などを行い、社会人として必要な力の育成を図っていきたい。またフィールドワークとその成果報告はグループ単位で行うといったように、グループとして活動する力を育むことも目標となる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2309	日本史特論 I	2	講義	・ 日本の中世・近世を理解するために必要な基礎知識を身につける。 ・ 中世および近世の日本社会について構造的に理解する。 ・ 日本の歴史的展開を、東アジアなどの国際社会の動向と関連づけて理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSS2310	日本史特論 II	2	講義	日本の敗戦～高度経済成長期の社会と思想・文化を中心とする講義を通して、戦後史についての理解を深めることを目標とする。第1～8回を北河賢三(集中講義)、第9～15回を黒川みどりが担当。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDSS3101	社会科教科内容指導論 I	2	講義	この講義は、教育教職免許法に定められた「教科又は教職に関する科目」の「教職に準ずる科目」に該当するものです。講義では、具体的な社会科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校社会科の教育内容の特色とその選択の意味を考え、社会科教師としての授業力を高めます。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDSS3102	社会科教科内容指導論 II	2	講義	この講義は、教育教職免許法に定められた「教科又は教職に関する科目」の「教職に準ずる科目」に該当するものです。講義では、具体的な社会科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校社会科の教育内容の特色とその選択の意味を考え、社会科教師としての授業力を高めます。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3301	日本史演習 I	2	演習	本史の研究方法を修得し、4年次には卒業研究をまとめる力を身につけることを目指します。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3302	日本史演習 II	2	演習	日本史演習 I に同じ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3303	地理歴史調査	2	演習	社会科の授業では、教師の側で地域社会の特色を十分に把握していることが求められる。地域社会の在り方を地理的・歴史的観点などからフィールドワークを通じて実際に調べて、そうした力を育成することを目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3304	外国史特論 II	2	講義	近世ヨーロッパに生きた人物たちについて学習する		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3305	外国史演習 I	2	演習	本演習では、「歴史」「世界史」とは何か、「ヨーロッパ」とは何か、あるいは「歴史教育」はどうあるべきか、という比較的大きなテーマを柱として、それらの歴史的背景や現状を把握しつつ、歴史が現代社会とどのように関わり合っているのかについて理解を深め、歴史に起因する問題とどのように関わり合っていくべきなのかについて自分の考えや態度を明確にすることを目標としています。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3306	外国史演習 II	2	演習	卒論を作成するために必要な基礎知識と外国語の読解力を養う。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3307	外国史演習Ⅲ	2	演習	歴史教育で取り上げられる史料の基礎的な取り扱い方を身につける		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3308	外国史演習Ⅳ	2	演習	歴史教育で取り上げられる史料の扱い方に熟達する		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3309	地理学研究法	2	講義	地理学や地理教育の調査・研究に必要な分析技能を習得することを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3310	地理学演習Ⅰ	2	演習	日本における近年の人文地理学や地理教育の研究動向について、具体的な論文の検討をふまえて議論を行う。地理学論文の形式、論文読解の基礎、地域調査の方法、調査結果の分析技法、地理学論文の執筆法などを実習形式で学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3311	地理学演習Ⅱ	2	演習	日本における近年の人文地理学や地理教育の研究動向について、具体的な論文の検討をふまえて議論を行う。地理学論文の形式、論文読解の基礎、地域調査の方法、調査結果の分析技法、地理学論文の執筆法などを実習形式で学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3312	地理学演習Ⅲ	2	演習	本演習では、経済地理学や都市地理学を中心にして、地理学の専門文献の講読方法の理解を目指す。文献講読および討論を通じて、人文地理学の研究動向や専門知識、地域分析の手法、調査方法等の習得を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3313	地理学演習Ⅳ	2	演習	地理学演習Ⅰ・Ⅲの内容を踏まえ、受講者が関心を持つ文献を選択・講読し、討議を通じて卒業論文執筆に向けたテーマや目的の設定を目指す。同時に、地域分析や地理学で使用される図表類の作成手法の修得を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3314	地理学巡検	2	演習	地理学および地理教育で求められる地域調査の技法を、巡検や現地調査の実践を通して学ぶことを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3315	現代日本経済	2	講義	現代の私たちの消費生活は、「豊かな」モノに取り巻かれる中で営まれています。そうした生活様式は突如成立したわけではなく、歴史的な経緯の上に形成されてきました。とりわけ大きな画期となったのが、1950年代半ばから70年代初頭にかけての高度経済成長でした。その過程を改めて検討することがこの授業の目的です。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3316	経済学演習Ⅰ	2	演習	現代日本経済史、日本経済論に関するやや専門的な知識を得ること、研究文献を読みこなせる力をつけることが主なねらいです。また、卒業論文の作成も念頭に置きつつ、先行研究を批判的に検討する姿勢を養うことも大切な目的としています。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3317	経済学演習Ⅱ	2	演習	現代日本経済史、日本経済論に関するやや専門的な知識を得ること、研究文献を読みこなせる力をつけることが主なねらいです。また、卒業論文の作成も念頭に置きつつ、先行研究を批判的に検討する姿勢を養うことも大切な目的としています。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3318	社会調査	2	演習	社会科の授業では、教師の側で地域社会の特色を十分に把握していることが求められる。そうした力を育成することを目標に、実際にフィールドワークを行い、問題発見・調査の技法を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3319	宗教学特論	2	講義	戦死者に対してどのような宗教的背景のもとに慰霊・追悼がなされてきたのか、またその死をめぐってどのように意義付けられ、そして博物館等での展示がなされてきたのか、そしてそこではどのような記憶の継承をめぐる論議がなされてきたのかという問題を、主に日本での場合を中心に考察する。あわせて中国やアメリカでの取り上げ方も参照したい。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3320	哲学特論	2	講義	政治哲学の一分野であり、人道的介入、移民の規制、世界的貧困などの国際問題を扱う世界正義論のテキストの精読を通し、そうした問題にどう取り組むべきかを考えていく。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3321	宗教学演習Ⅰ	2	演習	将来的に社会科の教員として必要な資質を「調べる・まとめる・プレゼンテーションする」という観点から育成することを目標として、宗教学的観点から多角的にその力を育成することを目標としたい。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3322	宗教学演習Ⅱ	2	演習	宗教学演習Ⅰでの学習成果を踏まえて、卒業論文作成を念頭に置きつつ、よりいっそう、学びを深めたい。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3323	哲学演習Ⅰ	2	演習	倫理学の一分野であり、人道的介入、移民の規制、世界的貧困などの国際問題を扱う国際倫理学のテキストの精読を通じ、そうした問題にどう取り組むべきか考えていく。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSS3324	哲学演習Ⅱ	2	演習	政治哲学の一分野であり、人道的介入、移民の規制、世界的貧困などの国際問題を扱う世界正義論のテキストの精読を通じ、そうした問題にどう取り組むべきか考えていく。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSS3325	社会科教育演習Ⅰ	2	演習	この授業では、社会科教員として必要な教科力および教科指導力を総合的に身につけることを目指します。この授業を通じて、社会科教育について、発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSS3326	社会科教育演習Ⅱ	2	演習	この授業では、社会科教員として必要な教科力および教科指導力を総合的に身につけることを目指します。3年次前期の社会科教育演習Ⅰでの学習成果を踏まえ、この授業を通じて、社会科教育について、発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSS3327	社会科教育特論Ⅰ	2	演習	この授業では、社会科教員として必要な教科指導力を総合的に身につけ、情報活用力とフィールドワーク力を中心に、授業実践力を高めることを目指します。この授業を通じて、社会科教育について、発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSS3328	社会科教育特論Ⅱ	2	演習	この授業では、社会科教員として必要な教科指導力を総合的に身につけ、授業設計力と教材開発力を中心に、授業実践力を高めることを目指します。この授業を通じて、社会科教育について、発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSS4301	地理歴史教育演習Ⅰ	2	演習	地理ないし歴史で卒業論文を作成することになる受講者各自の専門分野に応じた教員のもとで、専門的な文献の読解を行ったり、論文作成に必要な指導を受け、卒業論文の準備を行ってまいります。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSS4302	地理歴史教育演習Ⅱ	2	演習	地理歴史教育演習Ⅰに引き続き、地理ないし歴史で卒業論文を作成することになる受講者各自の専門分野に応じた教員のもとで、専門的な文献の読解を行ったり、論文作成に必要な指導を受け、卒業論文の準備を行ってまいります。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSS4303	公民教育演習Ⅰ	2	演習	この授業では、社会科・公民科教員として必要な教科力および教科指導力を総合的に身につけることを目指します。この授業を通じて、公民教育について、発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSS4304	公民教育演習Ⅱ	2	演習	この授業では、社会科・公民科教員として必要な教科力および教科指導力を総合的に身につけることを目指します。4年次前期の公民教育演習Ⅰでの学習成果を踏まえ、この授業を通じて、公民教育について、より一層発展的な理解と技能を習得することができます。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1101	線形代数学基礎	2	講義	線形代数学は、比例 $y=ax$ の高次元化である $y=Ax$ 、さらにそのベクトル空間への一般化である線形写像を扱う学問である。ここで、 x, y はベクトル、 A は行列である。この講義では、その線形代数学の基礎として、行列、連立一次方程式、行列式について学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1102	線形代数学	2	講義	平面から平面へのもっとも基本的な写像である1次変換の性質について学び、図形の合同の数学的な定義を与える。2次曲線の性質について考え、その分類定理を証明する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1103	集合と論理基礎	2	講義	すべての数学の基礎である「集合と論理」について、基本的事項を学ぶ。目標は、集合を正しく書き表し、具体的な集合の演算ができるようになること、集合演算と論理演算の関係を理解すること、写像と関数の概念を理解し、数学のいろいろな場面で使えるようになること。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1104	集合と論理	2	講義	写像(関数)について学んだ後、実数の性質と無限集合について考える。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1105	微分積分学基礎	2	講義	微分積分学の基礎を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDMT1106	微分積分学	2	講義	微分積分学の基礎を学ぶ。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDMT2101	代数学Ⅰ	2	講義	群に親しむ。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDMT2102	幾何学 I	2	講義	小中学校の算数または数学の授業で、 ¹ 元皇工徒の工体的な活動による授業の「アインツ・アインツ」をする際に、教師が数学についてのしっかりした知識を持っていることは非常に重要である。この講義では、幾何学の分野にスポットをあてその成り立ちと、公理主義・形式主義思想によって確立された幾何学の基礎を理解することを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDMT2103	応用数学基礎	2	講義	確率統計の基礎の完成		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDMT2104	コンピュータ	2	講義	Excelを使って、計算したり、グラフを書くこと。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDMT2301	代数学 II	2	講義	以下の(1), (2), (3)を目標とする。 (1) 整数環が単項イデアル整域であることを証明することができる。 (2) 剰余環の定義と例を述べることができる。 (3) 商環の定義と例を述べることができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDMT2302	解析学 I	2	講義	この授業では、不定積分の様々な計算方法を習得します。また、微分積分の基本定理を通じて、定積分と不定積分の関係を正しく理解します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDMT3101	算数・数学科教科内容指導論 I	2	講義	小学校算数科・中学校数学科での学習指導のあり方について、教育実習Ⅱ・Ⅲと関連付けながら、模擬授業を通して具体的に検討するとともに、算数教育・数学教育の目的やその内容、方法、評価等についての理解を一層深めることを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDMT3102	算数・数学科教科内容指導論 II	2	講義	具体的な事柄の起こり得る場合を、表や図や集合を用いて表すことができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3301	応用数学 I	2	講義	偏微分法、重積分法の知識を習得し、解析能力を高めること。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3302	代数学Ⅲ	2	講義	初等整数論に親しむ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3303	幾何学 II	2	講義	現代数学の全ての分野において必要不可欠な概念である距離空間について学ぶ。ユークリッド空間について復習した後、距離空間と距離空間の間の連続写像、同相写像について学ぶ。その後、トポロジーに関するいくつかの話題を理解する。また、複素数の幾何学についても学習する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3304	幾何学Ⅲ	2	講義	現代数学の全ての分野において必要不可欠な概念である距離空間について学ぶ。ユークリッド空間から始まって、距離空間へと空間の概念が拡張されていく数学の世界を理解することを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3305	解析学Ⅲ	2	講義	2変数関数の微分法及び積分法を学習する。複素関数に対する様々な理論を通じて、これまで学習してきた解析学に関する理解を深める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDMT3306	応用数学 II	2	講義	応用数学基礎では扱わなかった確率、統計を理解すること。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDMT4301	代数学特論	2	講義	代数学のトピックスを深く理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDMT4302	幾何学特論	2	講義	幾何学のトピックスを深く理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDMT4303	解析学特論	2	講義	解析学に関連する話題を深く理解する		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDMT4304	応用数学特論	2	講義	確率の基礎を復習した後、近年確率論と結びつきの強い数理ファイナンスの基礎を講義する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDMT4305	数理科学特論	2	講義	小・中・高等学校での算数・数学のテストを作成するために最適である、数式、図形等を記述するのに優れている組版ソフトウェア pLaTeX2e について演習を交えながら学ぶ。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDMT4307	数学科教育特論 I	2	講義	「算数科教育法 I」「数学科教育法 II」「数学科教育法 III」「数学科教育法 IV」に続く授業である。算数・数学科における学習指導のあり方について、具体的な事例をもとに詳細に追究することが主なねらいである。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDMT4308	数学科教育特論 II	2	講義	「数学科教育法」の II、III、IVを踏まえて、算数・数学教育に関する理論と実践について考察することを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSC1102	基礎物理学	2	講義	高校物理程度の力学分野を学ぶと同時に、それが現代社会を支える技術に密接に結びついていることを理解する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSC1102	基礎化学	2	講義	化学の基本は電子の挙動を理解することである。イオンの生成、共有結合の形成、分子の形等、初等化学の基本概念はすべて電子軌道の性質をもとに説明される。この授業では、周期表の第1～第3周期の元素を対象に、原子の性質、化学結合の本質、混成軌道の概念に基づく分子の構造や性質は、少ない原理を基に簡単に説明できるものであることを理解し、受講生が自分で説明できるようになることを目指す。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSC1103	基礎生物学	2	講義	高校での理科の選択科目を問わず、これから学ぶ生物学を理解するために必要な基礎的な知識を習得する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDSC1104	基礎地学	2	講義	小・中学校の理科で取り扱う地学分野に関する基礎知識を一通り習得し、その背景となる考え方や学問体系について理解を深めることを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDSC1301	近代物理学実験	2	実習	基本的な測定機器の使用法・操作法に慣れ、自然現象(電子の性質、ブラウン運動、天体の運動)を実験によって知る。実験で確かめ、知ることの楽しさを感じられるよう心掛けている。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDSC1302	生態学	2	講義	生態学に関する基礎的な知識を広く習得するとともに、学校教育において生物と環境との関係を正確に指導できる力の向上を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDSC1303	地球史	2	講義	地球の自然が現在までに至った歴史(自然史)を学び、地球の諸現象の相互関係やダイナミクスについて理解する。人類の存在基盤としての地球環境についてその変動を地質学的な時間スケールで把握し、21世紀の地球観について考察を深める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDSC1304	分析化学	2	講義	科学の基礎をなす様々な測定法や分析法に必要な化学的知識や考え方について、化学の視点から理解する。特に最近では、環境中や生体中、食品中の成分の化学分析が、安全性や信頼性評価のために非常に重要なものとなっている。本講義では、化学分析や溶液化学の特に基礎的知識を身につけ、また様々な分野における分析手法の応用についても学習する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2101	物理数学	1	講義	自然科学の基礎をなす物理学は、自然現象を分析したり、その背後にある法則を見つけ出したり、新しい現象をその法則を用いて理解したりする場合に、定量的な取り扱いを必要とする。数学はこの場合に欠かせない道具である。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2102	基礎物理学実験	2	講義	物理学は本来実験物理として発展してきた。また、物理学を学習する場合、論理的思考法に特徴があるために、その数理的側面ばかり協調される傾向がある。ここでは物理学の自然科学としての本来の特徴を、実験を通じて体験習得することを目指している。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2103	化学実験学	1	講義	化学実験における個々の操作には、裏づけとなる理論がある。単にテキスト通りに操作して結果を出すだけでは、化学的な考え方も知識も身につかない。化学実験の時間内だけでは説明できない理論・原理の習得を目的に、基礎化学実験を受講する全学生を対象に開講する。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2104	基礎化学実験	2	実習	化学実験における基本操作(ガラス器具の洗浄と取り扱い,ろ過,抽出,滴定,pH測定,吸収スペクトル測定など)に習熟するとともに,同時に開講する化学実験学と連係して,基礎理論(化学平衡,酸解離定数,錯形成反応,反応速度論,電気化学,吸収スペクトル,有機化学)を理解する。		◎	◎	◎
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2105	応用生物学	1	講義	学校教育において生徒が生物学を学ぶ意義を理解するためのキャリア教育を指導できる能力を高める。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2106	生物学実験	2	実習	小中高等学校で行う実験を確実に指導できるように,実験方法と指導方法を習得する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2107	地学実験	2	実習	身のまわりにある地学現象に関係する物やデータを観察・解析する作業を通じて,地学現象全般に関する基礎知識・観察手法・考察の仕方を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDSC2108	自然観察フィールドワーク	1	実習	静岡県周辺の重要な地形・地質・生態系を現地で観察する事によって,自然と親しみながら,自然景観の基本的な成り立ちを理解し,あわせて野外調査における基本的な技術等を習得する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDSC1301	有機化学	2	講義	有機化学は化学の最重要分野の1つであり,物質について考察するとき,有機化学に対する理解は必要不可欠といえる。はじめにミニマムな原理を理解することにより一般性を推測できるような科学的な見方を身につけ,広く有機化学に関する知識を習得することをねらいとしている。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDSC1302	物理学演習 I	2	演習	基礎物理学の内容をさらに発展させ,数学を通して物理学の本質を練習問題を解くことによって理解する。本授業では,特に電磁気学に重点を置き,物理学が数学によってどのように記述されているか実感する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2~4年次	選択	EDSC1304	自然災害学	2	講義	複雑な現代社会が抱える矛盾は,ときに悲惨な災害の姿となって発現する。科学技術の発達には自然災害を抑制する一方で,新たな災害も生み出してきた。本講義では,このような自然災害を引き起こす現象の原因と特徴を概観した後,とくに地震・津波についての基礎知識や考え方,研究の現状,防災対策等を幅広く学び,それらを一般市民や児童に正確に伝えられる力を身につけることを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDSC3101	理科教科内容指導論 I	2	講義	1)受講者は,小・中学校の理科学習内容の背後にある新学習指導要領に対応した学問的な知識体系と技能について理解を深めることができます。 2)受講者は,教育実習において使用可能なレベルの理科学習指導案を作成できるようになります。 3)受講者は,教育実習Ⅱ,Ⅲともに連動し,小・中学校の理科内容を実践的に,より専門的に深めることができます。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDSC3102	理科教科内容指導論 II	2	講義	小中学校理科の物理・化学・生物・地学領域の学習内容の背後にある新学習指導要領に対応した学問的な知識体系と技能について理解を深めます。また,教育実習後の授業設定であるため,教科内容理解に基づいて,科学概念をもとにした単元構想や授業づくりの力の育成を目指します。 □		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2301	応用化学	2	講義	化学の研究を進めるためには,様々な測定機器やコンピューターの使用が不可欠となっている。本講義では,機器分析の基本操作やコンピューターを用いたデータ解析などを修得し,化学の原理・専門的な知識の使い方をマスターし,より実践的に研究を発展できる能力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2302	地球・宇宙システム I	1	講義	小・中学校および高校地学で扱う天文学の教科内容を指導するために,その基礎的概念や学問体系を理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3~4年次	選択	EDSC2303	地球・宇宙システム II	1	講義	カリキュラム改定進行のため2018年度は未開講		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2304	物理学演習 II	2	演習	4年生の卒業研究の準備段階としての演習である。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2305	応用化学実験	2	実習	化学の研究を進めるためには、様々な測定機器やコンピューターの使用が不可欠となっている。本実験では、機器分析の基本操作やコンピューターを用いたデータ解析などを修得し、さらに合成や定性などの実験を通じて化学の原理・専門的な知識の使い方をマスターし、科学的な考え方でより実践的に研究を発展できる能力を身につける。		◎	◎	◎
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2306	系統進化学	2	講義	系統進化学に関する基礎的な知識を広く習得するとともに、学校教育において、系統と分類、進化を正確に指導できる力の向上を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDSC2307	分子生物学	2	講義	この半世紀にわたる分子生物学の発展は目覚ましく、得られた知見や技術は医療をはじめ多くの分野に応用されている。本講義は受講者に分子生物学の内容を理解してもらい、それがもたらす利益と今後の課題について各自が考える発端となることを目標としている。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDSC2308	地学演習	2	演習	科学の進歩に対して、教育に携わるものは常にその動向を注視し、その成果を教育内容にとりこみ議論できる力量を必要とされる。文献やインターネット上の情報として発表される英語による科学情報の読解力を養うこと、および課題に対する発表・質問・議論を通じて問題を発見し解決する能力を養う。 □		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDSC2309	量子物理学	2	講義	量子力学は原子や素粒子などのミクロなものを扱うだけでなく、固体物性などマクロな現象を説明するのに欠かせない理論である。量子力学の世界は常識では捉えることができず、これを理解することは自然観を変革することであるといえる。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSC2310	理科教育学演習 I	2	講義	各種国内外の調査結果から、日本の理科教育の課題がいくつか指摘されている。その課題を解決する方法として提案されている、学校内外の学習リソースの活用の在り方を検討する。STEM教育を構想できるようになること。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDSC2311	理科教育学演習 II	2	講義	(1)受講者は、現行の学習指導要領で重視される科学的な体験としての「ものづくり」の基礎的な技能を体得できます。 (2)受講者は、理科教員として求められる、子どもや大人(保護者)とのコミュニケーション・スキルを洗練できます。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSC4301	生物学原書講読	2	講義	生物学の文献を輪読し、担当した内容をとりまとめて他の受講者に発表形式で紹介する。この講義を通じて、論文作成能力とプレゼンテーション能力の向上を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDSC4302	化学特論	2	講義	化学は物質とエネルギーを扱う学問である。この講義を通じて、化学の最先端研究を題材に、幅広くかつ精細な物質において、何が本質で、何を解明しなければならないかを理解することが目的である。特に、化学構造と分子間力による凝集体の形成について明確な概念を形成できるようになる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME1101	ソルフェージュ	2	演習	旋律聴音や伴奏づけ、弾き歌い等を学ぶことで、小・中学校で音楽を教授する際に必要な楽譜の読み書きの基礎的な能力や適切な音感を身につける。また平易な楽曲を分析し、音楽を構成する様々な要素について学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME1102	声楽(日本の伝統的な歌唱を含む。)	2	演習	声楽の歌唱法と発声法の基礎を身につけ、歌曲を無理のない声、また明瞭な発音で歌えることを目標とし、最終的には、小学校、中学校、高等学校の歌唱教材をしっかりと歌えるようにする。既習状況に応じた授業が行われる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME1103	器楽(和楽器を含む。)	2	演習	小中学校の音楽の授業に必要とされる、ピアノ演奏の基礎的な能力を身につける。音階やバロック・古典の作品を通して、ピアノ演奏に必要な技能と表現を学ぶ。なお、和楽器については集中講義で扱う。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME1104	作曲法(編曲法を含む。)	2	講義	「音楽理論」で学んだことをベースとしてさらに進んだ和声を学び、それらの知識を活かして小・中学校で音楽を教授する際に必要とされる平易な楽曲創作や編曲に関する技能を身につける。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME1105	音楽理論	2	講義	小・中学校で音楽を教授する際に必要な音程、音階、調、和音といった基礎的な楽典の内容を学ぶとともに、伴奏づけの学習を通して和声の基本を学ぶ。さらに平易な楽曲を分析することで音楽を構成する様々な要素を理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDME1301	管楽器奏法	2	演習	フルート、クラリネット、サクソフォンなどの木管楽器、トランペット、トロンボーン、チューバなどの金管楽器の基礎的な奏法を学び、小中高等学校における吹奏楽の指導に必要な演奏能力や指導力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDME2101	指揮法	2	講義	音楽科教員として演奏や指導に必要な指揮の基本動作を学び、合奏や合唱、アンサンブルを通して指揮法に関するコミュニケーション能力や指導力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDME2102	音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	2	講義	中学校・高等学校の授業を作るうえで必要な、西洋音楽史に関する知見を深めると同時に、音楽文化の多様性について考察し、音楽の歴史的事象だけでなく時代背景も理解し、学習した内容を自身の言葉で説明できるようになる力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDME2103	合唱	2	演習	小学校、中学校、高等学校の合唱教材を通し、指導の方法、コミュニケーションの取り方などを習得する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDME2104	合奏	2	演習	リコーダー合奏を通して、個々の演奏技術を向上させるとともに、器楽指導の実践的指導力や指揮法の基礎的技術を習得する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDME2105	鍵盤楽器(伴奏法を含む。)	2	演習	ピアノ演奏を通して、音楽科教育における様々な場面に対応できるような力を身につける。ロマン派や近現代のピアノ作品を学ぶことで、教員に必要とされるピアノの技能や表現を深めるとともに、中学校の歌唱共通教材の伴奏を扱い、より実践的な指導力を養う。 □		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDME2302	楽曲分析	2	講義	小・中学校の鑑賞教材として取り上げられる様々な楽曲を分析することで、楽式、和声、非和声音、コードネーム等の理解を深める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDME2303	音楽文化研究	2	演習	音楽教育学研究についての知識の習得と、指導や研究のためのスキル(音楽実技を含む)を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDME3101	音楽科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	具体的な音楽科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校音楽科の教育内容の特色と意味を考え、教育実習ⅡおよびⅢと連動して音楽の教科内容を実践的かつ専門的に深めることを通して、教職とは何かについて理解する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDME3102	音楽科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	学習指導要領における日本の伝統音楽の位置付け、日本音楽史との関連も学びながら、学習指導要領で求められている和楽器の指導、伝統的な歌唱の指導、我が国の音楽(伝統音楽)の鑑賞指導の実践を見据えて和楽器「三味線」と伝統的な歌唱を学び、実際に指導ができるための基礎知識を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EMDE3301	発達音楽学Ⅰa	2	講義	専門実技を通して、音楽教育学の基礎的知識や技能を習得するとともに、学問としての音楽の学びを平行して行うことで、実践と研究の両面から音楽について考える。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EMDE3302	発達音楽学Ⅰb	2	講義	音楽教育学研究についての知識の習得と、指導や研究のためのスキル(音楽実技を含む)を身につける。「発達音楽学Ⅰa」とは異なる研究テーマを探求することで、視野を広げ、主たる研究テーマの内容を深めたり補強したりする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EMDE3303	発達音楽学Ⅱa	2	講義	「発達音楽学Ⅰa」に引き続き、専門実技を通して、音楽教育学の知識や技能を向上させるとともに、学問としての音楽の学びを平行して行うことで、実践と研究の両面から音楽について考える。 □		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EMDE3304	発達音楽学Ⅱb	2	講義	音楽教育学研究についての知識の習得と、指導や研究のためのスキル(音楽実技を含む)を身につける。「発達音楽学Ⅱa」とは異なる研究テーマを探究することで、視野を広げ、主たる研究テーマの内容を深めたり補強したりする。なお、この授業は「発達音楽学Ⅰb」を履修した学生が受講する。 □		◎	◎	
専門科目	教職選択	3～4年次	選択	EMDE3305	音楽教育総合研究	2	講義	実際に子どもに関わる場面(ワークショップや授業)を想定しながら企画・練習する中で、音楽に対する感性や技能を磨き、計画的な見通しを持って準備ができるようになることや、広がりのある音楽活動を展開できるような視野と豊かな表現力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDME4301	発達音楽学Ⅲ	2	講義	音楽教育学研究についての知識を深めるとともに、各自で設定した課題について、資料収集を行いながら卒業論文を作成する。また、音楽に関する幅広い視野と知識を身につけ、専門実技の技能や表現力を磨く。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDME4302	発達音楽学Ⅳ	2	講義	「発達音楽学Ⅲ」に引き続き、音楽教育学への知識を深めながら、卒業論文を完成させる。また、音楽に関する幅広い視野と知識を深めることで、専門実技の技能や表現力を高める。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDAE1101	基礎デッサン	1	実習	美術実技の基礎訓練としての事物の観察に基づく描画法の基礎を習得したい。すなわち、形態を正確に把握し、木炭、鉛筆等のシンプルな描画材料を用いての、的確な描写を修得することを目指す。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDAE1102	彫刻基礎	1	実習	水粘土によるモデリングを行い、モチーフを立体的に捉え造形化するための技術や素材の特性を学び、彫刻表現に必要な基礎力の習得を目指します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDAE1103	彫刻演習	2	演習	本授業では人体彫刻の制作に向けた実践を通して、「平面と立体」「イメージと現実」など、彫刻制作の過程で生じる様々な歪みを肯定的に捉えること、加えて、各自の経験や視点の重要性についての理解を深めることを目標とし、魅力的な作品の創出に向けた「見ること」「考えること」「つくること」のバランスを学びます。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDAE1104	デザイン基礎(映像メディア表現を含む。)	2	演習	デザインの基礎領域を概観しその基礎技法について理解できる。 ②視覚的デザインにおけるコンセプトとその表現手法について理解し表現できる。 ③視覚的デザインの目的と効果、今後の展開について、自らの考えや評価を視覚化することができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDAE1301	美術史入門	2	講義	美術史とは美術の歴史であり、具体的な作品の様式を時代順に辿ることである。といっても、すべての美術作品の制作年代が分かるわけではないので、制作年代の分かる基準作をもとにして分からない作品の様式に従って当てはめていく。この美術史の様式について理解することを目指す。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDAE2101	絵画論(映像メディア表現を含む。)	2	講義	絵画に関する美術史的な視野をもち、制作に関する実践的な問題について考えていく。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDAE2102	彫刻論	2	講義	表現が多様化する現代において、作品を理解するためには多くの知識と経験が必要とされます。本授業では彫刻作品を中心に現代に至るまでの芸術表現の変遷を辿りながら、作品や作家の芸術上の価値や意義を考察し、鑑賞能力の拡充を目指します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDAE2103	デザイン実験	2	演習	実験的なデザイン課題を網羅的に実習することで、デザイン領域の拡大化傾向を理解すると共に、今後求められるデザインのポイントを把握する。また、各テーマの特を生かしたデザイン解決が柔軟に行えるような知識と技法を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDAE2104	デザイン技法	2	演習	①デザインの社会的な役割を理解し、創造的思考で問題解決することができる。 ②与えられた課題に対し、発想力と構成力を活かしながら適切な表現をすることができる。 ③デザインの教育的な効果について、自分の意見を述べるすることができる。 ④デザインを活用した教材開発の視点を持つことができる。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDAE2105	美術史概論(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	2	講義	美術史とは美術の歴史であり、具体的な作品を鑑賞することで、美術史の様式の流れとして理解される。この授業では半期の授業なので、主に仏教美術をその発生から日本の飛鳥時代、鎌倉時代までを扱う。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDAE2301	絵画基礎	1	実習	静物をモチーフに水彩画ないしアクリル画の基礎技法を習得することを目指す。画面全体の構想と細部の省略の関係など、1年次のデッサンや静物画の問題を引き受けつつ、背景や色彩といった問題についても実践的に取り組む。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDAE2302	実材研究	1	実習	日本では独自の風土を背景に古くから木を素材とした造形文化が育まれてきました。本授業では主に木を素材とした彫刻(木彫)作品の制作過程を通して、こうした文化の一端を理解すると共に、イメージした形態を量塊から彫り出すカービングとその道具を安全に取り扱う基礎的な技術の習得を目指します。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDAE2303	デザイン演習	2	演習	デザインの発想・思考方法は、デザインに限らず様々な領域への展開が可能となる汎用性を持っている。前半では、それらの手法を理解しながら、各個人のオリジナリティを最大限に発揮できるデザイン手法を身につける。後半では、それらの手法を活用して特定のデザイン課題を案出し、新たな価値の創出につなげられる、創造的な企画力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDAE3301	デザイン研究	2	演習	①モノのデザインとコトのデザインについての関係性について理解できる。 ②人の認知や行動を理解し、デザイン提案の中で応用することができる。 ③自らのアイデアについて創造的に具現化し、魅力的に表現することができる。 ④他者の意見や考えを真摯に傾斜し、意見交換や意見調整することができる。 ⑤自らの意見や考えを他者に論理的・効果的に伝えることができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDAE3101	美術科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	この授業では「教材研究」をキーワードとして、教科専門と教科教育を架橋し、美術教育の実践的能力の育成を図るものとする。そこでは、中学校美術および小学校図画工作の授業内容を再検討することで、美術授業の魅力や楽しさを実感するとともに、教材開発の重要性について学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDAE3102	美術科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小学校図画工作科及び中学校美術科学習指導要領を踏まえ、図工・美術の授業を展開するために必要な基礎的な理論と教材開発の方法を習得し、実践することを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDAE3103	絵画技法	2	演習	・コラージュによって絵画及び造形制作の幅を広げる。 ・ミクストメディアによって、新しい絵画技法に挑戦する。 ・互いの作品の鑑賞を通して、コラージュの多様性と可能性を体感する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDAE3104	工芸研究	2	演習	有機的で自由な形態の形成が可能な素材である土を用いた造形実習を行う。形成する前段階のコンセプト設定に注力し、コンセプトを実際の形へと表出する造形力を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDAE3302	美術史各論	2	講義	今までに扱っていない分野、具体的には美術史の絵画部門を東洋を中心に概観する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDAE3303	美術史調査実習	2	実習	美術の学習は実物を鑑賞するのが一番である。この授業は普段なかなか接することのない関西地方の古美術を見学する。また、学芸員資格としても使えるので、学芸員希望者は参加を勧める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	4年次	選択	EDAE4301	造形芸術学特講	2	講義	美術史や芸術学は3年次までに基本的な講義をしているので、ここではそれまでに扱わないままに残された分野を概観する。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDAE4302	美術教育研究	2	演習	表現及び鑑賞の題材開発及び研究を通して、美術教員としての専門知識や技能を身につけると共に、他機関との連携も視野にいれた授業実践力を高めることをねらいとする。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1101	陸上競技	1	実習	学校体育の授業において習得させるべき内容(学習内容)を捉えるとともに、習得するための学習活動を通して身につけさせなくてはならない技能や思考力・判断力・表現力等について理解することができる。また、その指導法について実践に基づいて理解を深めることができる。実技を行う中で、基礎的な技術を習得しながら児童・生徒がどこでつまづくのかを考え、技術を身につけていくための運動を見る視点を身につけることができる。また、つまづきを解消するための手立てとその効果について理解することができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1102	器械運動	1	実習	本授業では、学校の体育授業における器械運動の段階的指導法を学びます。 自分ができるということよりも、どうやって生徒に教えていくべきかについて、勉強します。 そのため、受講者には、「体育教師になろう」という自覚がとても重要です。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1103	体育原理	2	講義	○「身体教育」とは何か、その概念について知る。 体育教師としてまず知らねばならないことは、「身体教育」(不易)と「教科体育」(流行)との違いです。この「身体教育」について知ることで、「教科体育」の原点を知るとともに、将来、自らの体育の授業を振り返ることができるための視点を得ることをねらいとしています。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1104	学校保健	2	講義	【テーマ】学校において、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うこと、自己や他者の健康の保持増進を図ることができるような能力を育成することなど、学校における保健管理と保健教育について学ぶ。 【到達目標】学校保健活動がどのような根拠及び枠組みにおいて実施されているかを理解するとともに子ども達の現代的な健康課題とその解決に向けた方法論にも触れることを通し学校保健全体像を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1105	衛生学及び公衆衛生学	2	講義	<授業の目的> 中学校保健体育の保健分野の内容である「健康と環境」および「健康な生活と疾病の予防」について、衛生学の観点からその理論と実際を理解することが本授業の目的である。併せて、私たちの体の素晴らしさを再認識し、健康観の見直しをする。 <授業の到達目標> ・空気・水・日光と健康との関係について環境生理学的に理解することができる。 ・日常の保健行動と健康との関わりが理解でき、そのための生活習慣を身につけることができる。 ・感染症と生活習慣病の成立要因が理解でき、予防対策が立てることができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP1106	体育・スポーツ測定学	2	講義	健康やスポーツ、学校体育に関連した体力とその測定について、研究を背景とした理論と正確な測定方法について学習する。加えて、行動体力の実践的な測定と、各年齢対象の新体力テストの実施を通し、評価につながる能力も身につける。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDHP1301	水泳	1	実習	これまでの水泳の指導にみられた克服的、鍛錬的な要素をできる限り排除し、水を好きになる種々のバリエーションを経験し、再度、水泳とは何だ、水泳が持つ教育的な要素とは何だ、を追求します。その中で水中での自己保全能力を身につけることを授業のねらいとします。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDHP1302	解剖生理学	2	講義	【到達目標】人体の正常構造と機能を知ることにより、健康管理・教育者としての医学的基礎知識と実地対応能力を身につける。加えて、主要な臓器・器官の異常に関連する疾病を学び、健康維持の重要性を認識することができる。 【テーマ】人体の主要な臓器・器官の解剖学的位置と生理学的機能を習得する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDHP1303	学校救急法概論	2	講義	1. 傷病等に対する応急手当の基本を説明できる 2. 手当ておよび搬送の技術を習得する		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDHP1304	球技 I	1	実習	本授業は体育館種目としてのバスケットボールとバレーボールの特性を理解し、基本的な技術・戦術を習得して個人の技術レベルを向上させるとともに、それぞれの種目の指導法の基礎を学習します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHP2101	体育実技	1	実習	実技の学習を通して体育授業の指導法に関する基本的な考え方を理解できる。体育実技の効果的な指導の観点について正しく理解したうえで、楽しく安全に実技指導を行う知識と能力を身につけることができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHP2102	ダンス	2	実習	表現・創作ダンスとリズムダンスを中心にダンスの基礎的な技術を習得し、自己表現能力の向上を図ります。それに併せて、ダンスの特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めることを目標にします。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHP2103	運動学(運動方法学を含む。)	2	講義	運動学の授業では、体育の教員になるために必要な「動きの指導方法に関する基礎理論」を学ぶことを目標としています。選手や生徒の動きのどこが悪いのか、どうすればできるようになるのかについて真剣に考えましょう。その手助けとなるのが運動学の理論です。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHP2104	運動生理学	2	講義	保健体育教育専修の必修の講義です。養護教諭養成課程、スポーツプロモーションとしての講義になります。運動生理学は子どもの発育発達、加齢による機能衰退現象、運動およびスポーツが身体に及ぼす影響を理解するうえで極めて重要な分野です。特に保健体育、養護教諭の教員やスポーツ指導者、スポーツを通じた地域づくりを目指す人にとっては必要不可欠な理論です。身体活動が生体に及ぼす効果について形態面と機能面から学び、健康の保持増進のために身体活動が果たす役割、競技力向上やトレーニングの方法についての理解を深めましょう。本授業では解剖学、測定学および運動生理学の各分野における基本的理論について理解し、身体各器官の働きや運動機能の応答と適応についての基礎的メカニズムを修得します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHP2105	体育・スポーツ心理学	2	講義	体育・スポーツ心理学における基本的な理論や概念を理解することを目標とします。また、体育・スポーツの活動において心に生じる現象を理論的な視点をもって観察できるようになることを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHP2106	体育・スポーツ経営学	2	講義	体育・スポーツ経営学の基礎理論を修得することが到達目標となる。具体的には、体育・スポーツ経営の構造について図解し、それについて一定の論述が出来ることが求められる。併せて、体育・スポーツ経営学の研究課題についても志向出来ることが望まれる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2301	球技 II	1	実習	球技 II は、ソフトボール(横山)サッカー(杉山)が担当する。それぞれの基本的な技術・戦術を習得し、個人の技術レベルを向上させるとともに、それぞれの種目の指導方法の基礎的なものを学習する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2302	武道	1	実習	剣道の実技を通して武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようになることを目標とします。また、基本的な動作や技を習得して攻防を展開できるようになることや、剣道の指導法を理解することを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2303	精神保健	2	講義	【到達目標】①人の心の仕組み、発達、動きについて理解できる。 ②心の危機状況下で現れる症状について理解できる。 【テーマ】①精神障害の概要を学ぶ。 ②精神療法的対応の基礎を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2304	運動生理学演習	2	演習	本授業は運動生理学講義で学んだことを実際に実験、測定をすることによりスポーツ科学の一面を理解し、学校教育および生涯教育における健康とスポーツに関する基礎的研究とその重要性について学ぶ。授業において実験機器の正確な操作、測定原理、測定項目の理解度を身に付ける。また、科学データの収集、分析する情報処理能力を高める。前期で行った運動生理学講義での内容を理解していることを前提に行う。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2305	学校環境衛生	2	講義	到達目標 学校における環境衛生の目的を知り、学校環境衛生基準に伴う検査項目と検査方法について理解し、その手順を身に付ける。 テーマ 児童・生徒及び職員の健康の保持増進、疾病予防、学習活動の能率の向上を図るための学校環境衛生についての理解を深め、良好な環境の維持とその改善のための方法と実践的な手順を学ぶ。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHP2306	予防医学	2	講義	到達目標 (1)健康増進のための生活行動のあり方について理解することができる。 (2)疾病予防のための理論と対策を身に付けることができる。 (3)生涯を通じた健康づくりのための自己管理能力を身に付けることができる。 テーマ 健康の増進、感染症や生活習慣病の予防など予防医学の第一次予防に焦点を置き、その内容と手段を理解し、生涯を通じた健康づくりのための自己管理能力を磨く		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHP3101	保健体育科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	・各種目の運動の特性及び内容について理解することができる。 ・各種目の学習内容について理解することができる。 ・学習内容を習得させるための具体的な学習活動やその指導を知り、教材づくり(授業づくり)についての理解を深めることができる。 ・教育実習で実践した授業の振り返りを通して、授業改善の視点を見出すことができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHP3102	保健体育科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小学校の保健領域、中学校の保健分野、高等学校の科目保健の授業内容に関する理解に基づき、教材研究や指導方法の検討をすることができる。指導案の作成や模擬授業の実施を通して、授業に関する実践的な指導力を高めることができる。新学習指導要領の改訂の方向性を理解することができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHP3301	学校健康教育	2	講義	学校健康教育の推進のための必要な知識を身に付ける。学校保健委員会や特別活動・保健指導等での健康教育を充実させていくための方法を理解できる。現代の子どもの健康・安全を脅かす可能性のある社会環境にも意識を向けることができ、ヘルスプロモーションの観点を踏まえ、その改善・解決に向けた方法論についても理解できる。 学校健康教育の推進のための必要な知識を習得するとともに、学校保健委員会や特別活動・保健指導等での健康教育を充実させていくための方法論について学ぶ。また、現代の子どもの健康・安全を脅かす可能性のある社会環境についても検討する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHP3302	小児保健特論	2	講義	子供の精神・身体の健康と正常の発育・発達を見守っていくことは、学童および幼児教育に於いて最も大切な要素のひとつです。まず、ヒトの体の仕組みなど基礎知識を得ていただいたうえで、個々の疾患や症例などについて一緒に考えていきたいと思います。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHP3303	体育統計学	2	講義	教育や研究ではものごとを客観的かつ科学的にとらえることが重要です。そのための基本的な実験・調査、分析、発表の方法などを習得することを目標とします。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHP3304	体育・スポーツ社会学	2	講義	この講義では、受講生に応じた二つの目標を設定する。 1)スポーツが社会においてどのような役割を担ってきたのか。またその功罪について探求する。 2)「文化としてのスポーツ」を生徒に学習させるための単元構想および学習指導案の作成を行う。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDHP4301	保健体育科教育特論	2	講義	・持続可能な社会のための教育(ESD)と21世紀型能力について理解するとともに、このような考え方が提出された背景について知ることができる。 ・21世紀型能力の育成やヘルスプロモーションの考え方を生かした保健学習・保健指導を推進することの価値・重要性について理解することができる。 ・前述の理解を踏まえつつ、健康的な社会環境づくりのための実践力や情報発信力の獲得に向けた保健学習・保健指導における思考力・判断力の育成の方法について理解することができる。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDTC1101	電気工学(電気に関する実習を含む。)	2	講義	電気工学に関わる全般的知識と簡単な電気回路の試作技能の習得を目指します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDTC1102	栽培学基礎	1	講義	栽培学基礎・応用を通じて、栽培に関わる授業を計画し、生徒の栽培を指導するために必要な基礎的な事柄を学ぶ。あわせて、農業や環境問題などの社会的課題についても考える力を養う。2年次の栽培実習では自ら計画して圃場での栽培を行うので、実際に自分で栽培を行うときに考慮する必要がある基礎的な内容について、農業における課題にも触れながら解説する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDTC1103	機械工学	2	講義	工学は社会に役立つように科学の成果を応用するためのものである。機械工学は機械および機械に関する現象を取り扱う工学であり、あらゆる産業の基礎をなす。その内容は機械材料学、材料力学、機構学および機械力学、機械設計学、機械工作法、水力学および流体力学、熱力学および原動機、自動制御など多岐にわたる。卒業研究での応用例を具体的に示しながら、研究の視点で講義を行う。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDTC1104	製図法	2	演習	製図、図面の持つ役割は終始、生産過程を導いて、よい製品を作る案内役をするものです。製図法 I では、製図用具を用いていろいろな平面図形、立体図形を描く基礎的なトレーニングを行い、JIS(日本工業規格)に基づいた木材製品の製図の演習を行います。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1～2年次	必修	EDTC1105	木材加工学	2	講義	材加工学は、中学校の技術・家庭科における「ものづくり」分野を念頭に置いて、免許法の木材加工について全般的で基礎的な知識を理解することを目的としている。免許必修です。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1～2年次	必修	EDTC1106	金属加工学	1	講義	金属加工法は、現代の生活を支えているお鍋や、システムキッチンなどを作り出す優れた工業技術の一つに挙げられます。しかし、金属加工については、小学校、中学校、高等学校の理科系教科でも時間数の減少から学習される機会が少なくなってきました。この授業では、金属でのもの作りの考え方に迫ってみたいと思います。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDTC1107	情報工学	2	講義	技術分野における「D 情報の技術」を指導するために必要な情報工学に関する基礎知識を習得できる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDTC1301	材料力学	2	講義	中学校技術における機械領域はもちろん金属加工、木材加工の領域においても材料の強度と剛性を考慮した設計を行わなければならない。本講義では設計を行うために、材料の強度と剛性に関する基礎的な内容を学習する。卒業研究での応用例を具体的に示しながら、研究の視点で講義を行う。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDTC1302	栽培学応用	1	講義	栽培学基礎・応用を通じて、栽培に関わる授業を計画し、生徒の栽培を指導するために必要な基礎的な事柄を学ぶ。あわせて、農業や環境問題などの社会的課題についても考える力を養う。2年次の栽培実習では自ら計画して圃場での栽培を行うので、実際に自分で栽培を行うときに考慮する必要がある基礎的な内容について、農業における課題にも触れながら解説する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1～2年次	選択	EDTC1303	金属加工応用	1	講義	金属材料の物理的・化学的性質や他の材料と融合させたり組み合わせたりして得られる性質や構造およびその製造方法について理解する。 □		◎	◎	
専門科目	専修選択	1～2年次	選択	EDTC1304	職業指導	2	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の就職支援策の一環としての職業能力形成の現状と課題を理解できる。 ・中等教育レベルにおける職業能力形成の制度の概要・現状・課題を理解できる。 ・成人向けの生涯学習の制度・現状・課題を理解できる。 ・諸外国との状況を比較し、日本の学校教育の若干の特徴と課題を理解できる。 ・青年や成人の職業能力形成の有効な方策の内容や進め方につき自分の考え方をもてる。 		◎	◎	
専門科目	専修選択	1～3年次	選択	EDTC1305	電磁気学	2	講義	電気工学の基礎科目である電磁気学の基礎的知識の習得を目指す。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDTC2101	機械工作実習(機械に関する包括的な理論を含む。)	1	実習	機械がその機能を発揮し、有効な機械的仕事をするためには、機械部品を決められた形状、寸法に正確に工作しなければならない。機械工作法では、ヤスリなどの工作道具を使った手作業による仕上加工法と旋盤などの工作機械を使った切削作業を通して現代の加工技術を学び、技術についての理解を深める。卒業研究での製作例を具体的に示しながら、研究の視点で実習を行う。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDTC2102	電気工作実習	1	実習	電気計測機器や電気素子に関する基本的知識や技能をもとに、電気に関するエネルギー変換を用いた電気教材を構想し、製作する体験を通じて電気工作に関わる基本的知識や技能を獲得します。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDTC2103	栽培実習(栽培に関する包括的な理論を含む。)	2	実習	教員として生徒の栽培を指導するために必要な基礎的な能力を、栽培に関する包括的な理論を学習するとともに、実際に自分で作物を栽培・管理することによって養う。栽培に関わる様々な技術とその意義を体得するとともに、作物の生育に及ぼす環境の影響について理解し、収穫して試食することにより、食と農をつなげる学習の意義を理解する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDTC2104	情報処理基礎実習(情報基礎に関する包括的な理論を含む。)	1	実習	中学校技術分野における「D 情報の技術」を指導するために、複数のプログラミング言語・環境を用いながら、コンピュータの原理の理解と初歩的なプログラミング技能を習得することができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2～3年次	必修	EDTC2105	木材加工実習(木材加工に関する包括的な理論を含む。)	1	実習	木材加工基礎実習は、中学校の技術・家庭科における「ものづくり」分野を念頭に置いて、木製品の初歩的な加工技能を習得することを目標としている。免許必修です。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2～3年次	必修	EDTC2106	金属加工実習(金属加工に関する包括的な理論と製図法を含む。)	1	実習	金属を用いて製品を製作する事は、現代の生活を支えている優れた工業技術の一つに挙げられます。しかし、金属加工は、小学校、中学校、高等学校の理科系教科でも時間数の減少から学習される機会が少なくなってきています。この授業では、板金加工、銅鏡製作を通し、金属加工法のもの作りの考え方に迫ってみたいと思います。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2～3年次	必修	EDTC2107	情報処理応用実習	1	実習	中学校技術分野における「D 情報の技術」を指導するために、ネットワークを利用した教材用IoT機器の製作を通してIoTの概念を理解するとともに、ハードウェアとソフトウェアに関する技能を習得することができる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2301	金属加工演習	2	演習	金属加工の基本的なスキルを体得する。金属加工実習で習ったことを基にスキルをさらに向上させる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2302	機械工学実験	1	実習	機械工学に関連する実験の基礎を学習する。実験を通じて、測定に必要な注意点、データの取り扱い(誤差および有効数字)、データから読み取れる規則性、理論との比較・考察について学び、卒業研究の基本を身につける。卒業研究での応用例を具体的に示しながら、研究の視点で実験を行う。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2303	電気工学実験	1	実習	テスタやオシロスコープといった電気計測機器の使用法や電気回路の解析法を習得します。加えて、ダイオードやトランジスタといった半導体素子等の電気的特性を計測することで電気素子の測定方法を体験します。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2304	作物学	2	講義	この授業は、栽培実習や卒業研究において栽培についての実験を行う際の、理論的裏付けについて学んでいきます。また、農業を取り巻く環境に対する農薬や過剰施肥による環境問題、環境保全型農業、地球環境変化の下での作物生産、農学における研究などを紹介していく予定です。小・中学校における教材化についても扱います。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2305	木材加工特論	2	講義	中学校技術教科過程における教員のより専門性を高めるために、木材加工学で学んだ知識を深めることを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDTC2306	金属加工特論	2	講義			◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	選択	EDTC3101	技術科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	中学校技術・家庭の技術分野における専門内容(材料と加工、情報)について理解を深めることができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	選択	EDTC3102	技術科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	中学校技術・家庭の技術分野における専門内容(エネルギー変換、生物育成)について理解を深めることができる。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3301	機械工学特論	2	講義	本講義では、これまでの様々の講義、演習、実験、実習を通して獲得してきた機械に関する知識を基礎として、機械領域で卒業研究を行なう場合に必要となる、より専門的な機械工学に関する講義・演習を行なう。また、従来の卒業研究の概要を理解する。本講義は、研究の視点で講義を行う。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3302	半導体工学	2	講義	本授業の目標は、1) 半導体と導体、絶縁体について説明ができる。2) 各種物質の抵抗値と温度の関係を説明できる。3) 半導体の基本的な特性を用いて技術的な回路を作ることができるとしています。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3303	自動制御	2	講義	身近に活用され人間の生活を豊かにしている自動的に動作・制御する電気機器の仕組みを図や数式等を用いて表現し解析するための方法を習得することが本授業の目標です。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3304	電気電子工学特論	2	講義	電気電子工学に関わる基礎的知識の習得を目指す。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3305	情報工学特論	2	講義	制御基板やプログラミング言語など情報工学に関する教材開発に必要な専門的な知識や技能を習得できる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3306	栽培学特論	2	講義	この授業は、基本的には、研究室に配属された学生に対するゼミです。これまで、環境植物生産論、栽培学、作物学、作物生態学、栽培実習基礎の授業において、作物の栽培に関する基本的な知識や栽培技術を学んできました。この授業では、これまでの授業を基にして、作物栽培や環境問題に関する文献を自らまとめて発表し、作物栽培や環境問題における課題について考えていきます。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3307	木材加工演習	2	演習	中学校技術教科過程における教員のより専門性を高めるために、木材加工学で学んだ知識より深めることを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDTC3308	木材加工実験	1	実習	木質材料試験は、木材加工学で学習した理論をベースにし、木材の様々な材料試験を行うことによって、木材の材質特性を総合的に理解することが授業の目標である。さらに、様々な試験方法の理解と伴い、試験機及び測定機の正確な運用による工学的観点からの技術力を向上、その試験データを解析し、理論と比較することによる考察、及び発表による研究プロセスを身につけることを授業の目標とする。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3～4年次	選択	EDTC3309	工業科教育法Ⅰ	2	講義	工業教育の意義・役割などの学習から、教科「工業」で指導する内容について考え自分の意見が持てるようになること。工業高校で実際に行われている授業や実習内容を学びながら、教員として必要になる法令や指導法などの基礎的な知識を習得する。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3～4年次	選択	EDTC3310	工業科教育法Ⅱ	2	講義	高等学校工業科の免許取得のために、工業教育の歴史的な推移を説明するとともに、工業高校における学習理論や進路指導、学校運営などを理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職選択	4年次	選択	EDTC4301	技術教育研究	2	講義	中学校技術分野において利活用が想定される新技術の体験を通して、具体的な指導方法や教具に関する検討を行い、学校教育での適用を検討することができる。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHE1101	食物学Ⅰ(栄養学、食品学を含む。)	2	講義	食品の栄養成分に対する基礎知識を深めるために、食品の構成要素である糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル嗜好成分について学ぶ。また、食品のもつ1次機能(栄養性)、2次機能(嗜好性)、3次機能(生体調節機能)について学ぶ。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHE1102	家族関係論	2	講義	現代日本の家族が直面している問題を社会の変化に関連づけながら学習し、これからの家族関係のあり方について考えることをねらいとする。授業を通じて、これまで抱えている家族イメージから離れ、家族を見る方法を取得し、家族の実態についての理解を深めてもらいたい。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDHE1103	調理学Ⅰ	1	講義	食材は命であり、我々はその命である食材を様々な調理形態により調理し、供している。調理学とはその食材の特徴・特性を理解した上で、五感を利用し、美味しいと言われる料理に変化・進化させ続けている学問であり、それと同時に伝統を重んじる学問でもある。古くから伝わる経験に基づく基本的調理操作に関する事柄を科学的に究明し、そこから法則性を見出すことで調理技術の向上、食生活の応用・実践に役立つことを目的とする。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修選択	1～4年次	選択	EDHE1301	生活技術論(家庭電気・機械を含む。)	2	講義	科学技術の発展は家庭生活のあり方を変化させてきた。例えば、家電製品の普及により家事の省力化や時間短縮が進み、家族の人間関係や働き方が変化する一方で、生活技術や生活文化の伝承の重要性が忘れられている。本授業では、家庭生活で使用される電気機器や機械の動作や仕組みを科学的に理解し、目的に応じて正しく選択・使用できることを目指す。また、利便性や経済性の裏で生じている安全性の軽視、エネルギーの浪費、環境の汚染や破壊、技術者倫理の欠如などの問題についても熟思する態度を育てる。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1年次	選択	EDHE1302	調理学Ⅱ	1	講義	食材は命であり、我々はその命である食材を様々な調理形態により調理し、供している。調理学とはその食材の特徴・特性を理解した上で、五感を利用し、美味しいと言われる料理に変化・進化させ続けている学問であり、それと同時に伝統を重んじる学問でもある。古くから伝わる経験に基づく基本的調理操作に関する事柄を科学的に究明し、そこから法則性を見出すことで調理技術の向上、食生活の応用・実践に役立つことを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修選択	1～4年次	選択	EDHE1303	生活保健(家庭看護を含む。)	2	講義	1. 各ライフステージの特徴と課題を説明できる 2. 家族・家庭および福祉に関する基礎的な知識について理解する 3. 家庭看護・介護に関する知識・技術を習得する		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHE2101	食物学Ⅱ	2	講義	健康的な生活を営むために食生活が果たす役割について学び、食を選択する力を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHE2102	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2	講義	本授業では家庭科教員養成に関わる家庭経営分野の基礎的な知識の取得を目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2～3年次	必修	EDHE2103	住居学(製図を含む。)	2	講義	住居学は、生活を空間の側面から扱うもので、家庭生活全体が行われる場として重要である。住空間を最終的に決定し、使用する居住者の住まいに関する意識と生活様式を基礎として、生活様式に合致した住空間を計画する方法の原則について学ぶ。その後、居住する家族構成を設定した課題について、生活を想定して住空間を計画する応用を行い、基礎的な知識と技術を修得する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHE2104	調理学基礎実習	1	実習	食材は命であり、我々はその命である食材を様々な調理形態により調理し、供している。調理学とはその食材の特徴・特性を理解した上で、五感を利用し、美味しいと言われる料理に変化・進化させ続けている学問であり、それと同時に伝統を重んじる学問でもある。古くから伝わる経験に基づく基本的調理操作に関する事柄を科学的に究明し、そこから法則性を見出すことで調理技術の向上、食生活の応用・実践に役立つことを目的とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHE2105	食物学応用実験	2	実習	ここでは、食品学実験および調理学実験を行う。食品学実験は、食品学の講義で学習した食品の知識・技術に基づいて食品成分に関する実験を行う。調理学実験は、調理学の講義で学習した食品の調理特性を検証するための実験を行う。知識と技能を定着させるとともに、教育現場においても適用できる力を養うことを目指す。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2～3年次	必修	EDHE2106	被服学(被服製作実習を含む。)	2	講義	衣生活について文化、服飾史、素材、管理、構成、販売、心理といった多方面から理解する。計測や科学実験や製作実習を通して体験的に理解を深め、技法を身に付ける。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDHE2107	保育学(実習を含む。)	2	講義	保育の理念をふまえ、乳幼児の発達の特徴と保育課題を理論と実習から学習し、家庭科教育ですすめる保育教育に関する知識と実践力を養う。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDHE2301	子ども生活論	2	講義	乳幼児の発達と生活について概観し、各時期における特徴と保育課題を学習する。その際、子どものウェルビーイングを保障する環境(家族、地域、社会)のあり方についても学び、次世代育成に向けての資質と能力を育成する。		◎	◎	
専門科目	教職選択	2年次	選択	EDHE2303	家庭科授業演習Ⅰ	1	演習	家庭科教育の中で、受講生の関心あるテーマについて、文献をあたる。必要に応じて調査や見学実習、実験も行う。こうした活動を通して、問題意識を鮮明にし、教材開発や授業研究に対する関心を高める。 □		◎	◎	
専門科目	教職選択	2年次	選択	EDHE2304	家庭科授業演習Ⅱ	1	演習	家庭科教育の中で、受講生の関心のあるテーマについて、文献をあたる。必要に応じて調査や見学実習、実験も行う。こうした活動を通して問題意識を鮮明にし、教材開発や授業づくり、研究に対する関心を高める。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHE3101	家庭科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	教材づくりを通して、家庭科の指導内容の背後にある学問的知識と技術について理解を深め、授業づくりの力を育てることを目標とする。教科専門科目の学び方、深め方についても考える機会とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHE3102	家庭科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小・中学校教員として求められる、家庭科の教育内容の専門的な知識・技術を深める。これにより、家庭科の授業づくりの力を育てるとともに、教科専門科目の学び方、深め方についても学習する。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDHE3103	消費者市民教育論	2	講義	本授業では、消費者教育を行う人材の育成という視点から、そのために必要な基礎的能力や実践的能力の育成をめざす。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHE3301	消費者教育演習	2	演習	この演習を通じて、消費者教育を指導するための実践力を育成する		◎	◎	
専門科目	専修選択	3年次	選択	EDHE3302	生活情報処理	2	演習	高等学校・専門教科「家庭」の科目である「生活産業情報」の指導内容を理解し、「生活産業情報」の学習指導を行う力を身につける。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDHE3303	家庭科教育演習Ⅰ	1	演習	家庭科教育の中で、受講生の関心あるテーマについて、広く文献をあたる。また、必要に応じて調査や見学、実験を行う。こうした活動を通して、研究に対する関心を高めるとともに、自らの問題意識を鮮明にすることを旨とする。		◎	◎	
専門科目	教職選択	3年次	選択	EDHE3304	家庭科教育演習Ⅱ	1	演習	自らの卒業研究のテーマについて設定する。それに基づいて、先行研究を収集して詳しく読んでまとめ、自らの研究目的と共に、研究方法を設定する。 □		◎	◎	
専門科目	専修必修	3～4年次	選択	EDHE3305	応用栄養学	2	講義	栄養学を理解しそれぞれのライフステージにおける問題点の抽出、栄養ケア・マネジメントできる力を養う		◎	◎	
専門科目	専修必修	3～4年次	選択	EDHE3306	応用食品学	2	講義	現代の急速なライフスタイルの変化は、冷凍食品、レトルト食品など、第3次加工食品と呼ばれる調理済み食品の普及によるところが大きい。加工食品依存型の食生活に傾きつつある現代社会においても、第一に求められるのは食品の安全性である。加工の意義、保存の原理を学ぶことで、加工食品を選択する知識を体得し、今後の加工食品のあるべき姿を考える。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3～4年次	選択	EDHE3307	食生活論	2	演習	ライフスタイルの変化に伴い、食糧の供給は多様化している(大規模化・工業化・国際化)。こうした中、食生活の安全を守るためには、自然環境や社会制度、国際的な食料の需給関係などを視野に入れる必要が生じている。ここでは、食について、文化・歴史・風土等の面から多角的に学び、食生活のあり方を考える。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3～4年次	選択	EDHE3308	調理学応用実習	2	実習	調理学基礎実習で修得した基礎的な調理技術を土台にして、さらに高度な調理技術の修得を目指す。また、本実習を通して、調理に対する科学的な視点や思考力を養い、食生活に対して積極的に創意・工夫する態度を培い、食生活に対する豊かな感性を育成するとともに、現場での調理実習を想定し、指導案作成、実施、評価の能力を養う。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1101	英語学入門	2	講義	教育学部生が知らなければならない「英語学」の分野を、概観する。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1102	英語音声学	2	講義	【英語教師のための英語音声学入門】 英語の発音や聞き取りを効果的に指導するには日本語話者の視点から英語の発音の仕組みを理解しておくことが必要である。この授業では以下を目標に英語音声に取り組む。 1. 音声学、音韻論についての初歩的な知識を身につける。 2. 英語の発音の仕組みを理解する。 3. 日本語の発音の仕組み及び日本語訛りの英語の特徴について理解する。 4. 英語の教員にふさわしい英語の発音を身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1103	英語リーディング研究	2	実習	「読む」とはどのようなことなのか考える。「大学生」として、まとまった文章を読む力をつけること。「教員」として、授業をする実践を行う。相手に伝わる読み方を工夫してみる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1104	英語学習法	1	実習	まずはこれまでの英語学習法をふりかえる。英語のフォニックス(綴りと発音のルール)を学び、大人の語彙力増強法により、語彙力を高める。英語の「聞く」「話す」技能を高めるために、初級英語音声学を学ぶ。英語コミュニケーション能力広く一般教養力も高めながら、自学自習のための英語学習法を、まずは自分自身が身につけ、英語力の証明となる資格を取得するとともに、英語学習者に指導できるようになることを目標とする。		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1105	英会話	1	実習	Students will gain proficiency in basic English conversation by participating in a content-based course on American popular music. Specific skills that students will develop include discussing opinions, presenting and talking about information gathered as homework, listening to lectures and taking notes, and giving a final presentation.		◎	◎	
専門科目	専修必修	1年次	必修	EDEN1106	英語表現スキルズ I	1	実習	The goal of this course is to facilitate students in further developing their English Communication skills and expanding the range of topics that they can competently discuss.		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEN2101	英語表現スキルズ II	1	実習	The goal of this course is to develop your ability to write well-organized English paragraphs and essays, as well as to make effective use of process writing skills.		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEN2102	英語文法論 I	2	講義	英語教師のための現代英語文法入門: 文法の知識を伝達能力の向上につなげるためには、文法形式を意味や文脈との関連において理解しておく必要がある。この授業では以下を目標に英語文法に取り組む。 1. 現代言語学の思考法についての初歩的な知識を身につける。 2. 現代英語の基本的な文法事項について形式と意味の関連を体系的に理解する。 3. 現代英語の基本的な文法事項について日本語との共通点と相違点を理解する。 4. 英語や日本語の表現形式や意味、文脈などの特徴を意識し、分析的に理解することができる。 5. 英語や日本語の文法や語法について、理解した内容を平易な言葉で表現することができる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	2年次	必修	EDEN2103	英米文学入門	2	講義	イギリス・アメリカで特によく親しまれてきたり、英語の発達に重要な役割を果たしたりした作家・作品の内容や特徴を学ぶ。作品の英語表現に見られる時代性や作家独自の工夫や文化的背景を考察し、英語を取り巻く世界への理解を深める。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEN2301	英語文法論 II	2	講義	中学校、高等学校であつかう英語構文について、学校文法におけるあつかいをまず再確認して、さらに生成文法や機能構文論などの説明と比較する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	2年次	選択	EDEN2302	英語文学教材研究	2	講義	学的作品の特性を活かした指導に対する理解を教材作成を通して深める。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3101	英語科教科内容指導論 I	2	講義	実践的なコミュニケーション能力を育成するには、基本的な文法能力の習得が必要不可欠である。英語教員として備えておくべき文法項目についての理解を確かなものとし、それを踏まえて効果的な文法指導法について考える。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3102	英語科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	英語の文章の定着に音読が有効であることを理解し、音読の効果を最大限にするために授業にどのように位置づけるかや具体的指導法について模擬授業を通して実践的に身につける。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3103	英語学演習Ⅰ	2	演習	英語関係の資格試験、教員採用試験における文法や解釈面からのサポートと、新しい角度から見た言語の本質をさぐる。		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3104	英語表現スキルズⅢ	1	実習	The goal of this course is to help students further develop their English Communication skills and increase fluency.		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3105	英語アカデミックディスコース	1	実習	The goal of this course is to develop students' English writing skills by having them complete a series of writing assignments leading to a final research paper. Special attention will be paid to incorporating outside sources (newspaper and journal articles) into writing.		◎	◎	
専門科目	専修必修	3年次	必修	EDEN3106	異文化理解	2	講義	The goal of this course is to improve students' understanding of cultural differences through lectures and activities about various topics related to the study of culture and cross-cultural communication.		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDEN3301	英語学演習Ⅱ	2	演習	話し言葉の文法: 英語の文法と意味に関する現象の中から、英語教師にとって有益であり、かつ伝統的な教育文法で十分な扱いを受けていないものを幾つか取り上げる。本年度は、以下を目標に、話し言葉でよく使用される談話標識および類語の使い分けについて考察する予定である。 1. 話し言葉および口語英語の特徴についての基本的な理解をもつ。 2. 言葉について書かれた一般向けの英文を読み、辞書を使いながらその内容を理解できる。 3. 対話のやりとりを分析的に理解し、その仕組みを平易な言葉で表現することができる。 4. 代表的な談話標識について、その用法を理解し、適切な文脈で使用することができる。 5. 基本的な語彙の使い分けについて理解し、言語運用の場で適切に使用することができる。 □		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDEN3302	英語文学特殊研究	2	講義	詩の原理や約束事が、英語の言語的特徴とどのように関わっているかを、創作を交えて実践的に理解すると同時に、詩を扱うことがどの程度指導法としての可能性を持ちうるのかを理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDEN3303	英語演劇表現	2	演習	英語で感情表現ができるようになることで、将来教員になる者として、モデルとなるのに十分なプロソディを身につける。また、演劇の教育的意義について理解する。		◎	◎	
専門科目	専修選択	3～4年次	選択	EDEN3304	第二言語習得論	2	講義	第二言語(または外国語)はどのように学習されて行くのかという知識を身につけたい。そのような第二言語習得の知識を基に、効率良い外国語教授法とは何かを考えて行けば、習得理論に裏づけされた教授法を考案することができるだろう。そのために、講義の前半では母語獲得研究について勉強する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	1年次	必修	EDPF1101	教職入門Ⅰ	1	演習	この授業科目は、教員免許取得に向けたガイダンス(入門)の授業です。 教員免許の取得をめざすみなさんが、「教職」への理解を深めるとともに、自己の適性を自覚し、めざす教師像を見つめ、「教師への道」を考えるための授業をめざします。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	1～4年次	必修	EDPF1102	教育実習事前・事後指導	1	演習	学校園で教育実習をするにあたって、知っておくべき知見を多方面の講義等を聴くことで学習する。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	1～3年次	必修	EDPF1103	養護実習事前・事後指導	1	演習	実際の学校現場において、養護教諭の職務や役割がどのように展開されているか、また学校内の教職員や学校内組織及び外部機関とどのように連携、協働し、子どもたちの成長発達を支援しているかなど、実践的な学びを深めるために必要な事項や教員としての責任事項を理解する。 □	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF1301	学習科学	2	講義	主体的、対話的で深い学びとは何かを学習科学の知見に基づき説明することができる。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	1年次	選択	EDPF1302	教職論	2	講義	教職に関わる法令や制度、教師の仕事内容、教師を取り巻く社会的環境などに対する理解を深めることで、教師という仕事の具体的なイメージをつかみ、「教育される」側から「教育する」側へと意識を変化させることを目指す。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2年次	必修	EDPF2101	教育実習 I (初等)	1	実習	1)授業を積極的に参観し、教師の役割を理解するように努める。 2)幼児・児童・生徒と積極的に交流して、子どもの気持ちを理解しようとする。 3)「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」への基礎的体験の場とする。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	2年次	必修	EDPF2102	教育実習 I (中等)	1	実習	1)授業を積極的に参観し、教師の役割を理解するように努める。 2)児童・生徒と積極的に交流して、子どもの気持ちを理解しようとする。 3)「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」への基礎的体験の場とする。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	2年次	必修	EDPF2103	養護実習 I	1	実習	実際の学校現場において、養護教諭の職務内容を理解すると共に学校内の教職員や学校内組織及び外部機関とどのように連携、協働し、子どもたちの成長発達を支援しているか観察・一部参加、実習することによって実践的な学びを深め、養護実習Ⅱに向けて課題意識を持ち、事後の学習に活かす。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2104	生徒指導(進路指導の理論及び方法を 含む。)	2	講義	児童・生徒指導を効果的に進めるためには、児童・生徒の発達や行動特徴を理解するとともに、校内連携や家庭や地域との校外連携についての理解を深める必要がある。本講義では学校教育全体における児童・生徒指導の意義と機能を明らかにし、児童・生徒指導上の問題の現状と指導の実際についての理解を深めることを目標とする。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2105	教育課程の意義と方法	1	講義	学習指導要領の趣旨を正しく理解し、学校の教育課程に具現化していくことを学ぶ。 ・現行学習指導要領の主たる狙いとその理由を説明できる。 ・言語活動の充実や外国語活動等を実施する体制づくりについて理解する。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2106	教育の方法及び技術	1	講義	小学校教員にふさわしい授業力量を身につける。 ・各教科に共通する授業の作り方を身につける ・小集団活動や探求学習の指導方法を身につける ・ICTや新しい学びに関する基本的な理解を得る	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2107	教育相談	2	講義	①教育相談とは何かを理解する ②学校教育における教育相談の役割を理解し、具体的なスキルを身につける ③教育相談に関連する児童生徒の学校生活上の課題を理解する ④教育相談に関連する他機関との連携についての理解を深める	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2108	特別活動論	2	講義	この授業は、教育職員免許法に定められている「教職に関する科目」のうち、「特別活動に関する科目」に該当するものです。特別活動の特質について理解を深めるとともに、具体的な実践事例をもとに、子どもの人間関係にとって望ましい特別活動の展開に向けての指導力の育成をします。また、実施上の課題についても考察し理解を深めます。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2109	道徳指導論	2	講義	この授業は教免法「教職に関する科目」内の「道徳指導法」に該当する科目である。学生が道徳指導に関わる基本的な知識を身につけ、それらをヒントとしながら、道徳指導の可能性について深く考えることができること、また、道徳指導の実践についてのアイデアを多様に展開できること、単に知識の提示に終わるのではなく、自分自身が道徳指導について持つ課題に引きつけて多様な道徳指導上の視点から考えて実践できる可能性を見出す姿勢を身に付けることが到達目標である。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～4年次	必修	EDPF2110	生徒指導(養護教諭)	2	講義	児童・生徒指導を効果的に進めるためには、児童・生徒の発達や行動特徴を理解するとともに、校内連携や家庭や地域との校外連携についての理解を深める必要がある。本講義では学校教育全体における児童・生徒指導の意義と機能を明らかにし、児童・生徒指導上の問題の現状と指導の実際についての理解を深めることを目標とする。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF2301	欧米学校史	2	講義	この講義は、教育実践学専修の学生のための選択専門科目です。欧米における学校教育の成立と展開、それに関わる教育思想の歴史を学ぶことを通して、今日的な学校教育の姿とそこに内在する諸課題や諸問題をとらえるための歴史的な視座を得ることをねらいとします。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF2302	子どもをめぐる法と制度	2	講義	-	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF2303	教育哲学	2	講義	以下3点の知識・能力の獲得を目指す。 ・みずからの教育実践の根幹となる「ティーチング・フィロソフィー」を深化させる。 ・西洋を中心として主要な教育学者の思想を理解し、それらを説明できる。 ・哲学的な視点から現代の教育問題について論じることができる。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2～3年次	選択	EDPF2304	発達心理学 I	2	講義	1.乳幼児期の人間の心身発達の基礎知識を身につける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.子どもの発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF2305	発達心理学 II	2	講義	1.児童期～青年期の人間の発達の基礎知識を身につける 2.実際の社会と心理学の知見を結び付けられるようになる 3.児童期～青年期の発達に関する諸問題について自らの意見を持てるようになる。 □	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	2年次	選択	EDPF2306	学校カウンセリング論	2	講義	今、学校教育の現場では、様々な教育臨床的課題が山積みしている。これらの問題への対処法として、学校カウンセリングの理論と実践に対する期待が高まっており、ニーズと対応領域は拡大してきている。この授業ではこうした現状を踏まえ、学校でのカウンセリング活動の実際について学ぶとともに、学習理論をベースとした子どもたちへの支援について理解を深めることとする。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3101	教職入門 II	1	演習	教職入門 I 等における教職に関する学習を前提に、本講義では、さらに教職についての理解を深め、自らの進路として教職を選択することの可否を適切に判断する機会の提供を企図しています。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3102	教育実習 II (初等)	3	実習	1)教師の役割を理解し、状況に応じた責任ある行動とは何かを学習する。 2)授業を構想し、展開する力を養う。 3)幼児・児童・生徒の健康や安全への配慮を心がけた指導を体得する。 □	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3103	教育実習 II (中等)	3	実習	1)教師の役割を理解し、状況に応じた責任ある行動とは何かを学習する。 2)授業を構想し、展開する力を養う。 3)生徒の健康や安全への配慮を心がけた指導を体得する。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3104	特別支援教育実習(事前・事後指導を含む。)	3	実習	-	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3105	養護実習 II	3	実習	-	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	選択	EDPF3106	教育実習 III (初等)	2	実習	「教育実習 III」は、「教育実習 II」の上に立って、「教育実習 II」とは異なった学校の教育についての理解を深める。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	選択	EDPF3107	教育実習 III (中等)	2	実習	「教育実習 III」は、「教育実習 II」の上に立って、「教育実習 II」とは異なった学校の教育についての理解を深める。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	3年次	必修	EDPF3108	乳幼児理解と相談	2	演習	乳幼児が成長過程で出会う問題事例を想定し、それらが持つ意味を幼児、保護者、保育者の立場から検証することで、幼児の理解と相談のための基本理念及び保育者の心得を学ぶ。	◎	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	3年次	選択	EDPF3301	発達臨床心理学	2	講義	①臨床心理学の理論を基盤として、児童生徒理解の視点を獲得する ②臨床心理学の理論、心理療法の技法を基に、児童生徒支援の方法を獲得する	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	3年次	選択	EDPF3302	学習カウンセリング	2	講義	この授業では、学習やそのつまずきの背後にある心理的なメカニズムやプロセスを理解し、個別、小集団、クラスレベルでの学習支援に必要な(心理学の)基本的な知識・技能を身につけることを目標とする。 □	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	選択	EDPF3303	教育経営論	2	講義	【授業の到達目標】 現代教育の課題を認識し、今後の展望を論じることができるようになる。 【テーマ】 本授業では、教育に関する経営的事項に関する諸論点に着目しながら、「教育」を経営的観点から捉える視点を養うことを目的とする。具体的には教育政策の動向をつかむ過程で「チーム学校」に求められるものを認識した上で、海外の教育事情を参照しながら、今後の日本の教育経営の方向性について各自がイメージできるようにすることを目的とする。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	選択	EDPF3304	キャリア教育論	2	講義	授業中に紹介する参考文献、学習指導要領や教育振興基本計画を通して、キャリア教育に関する理論やねらいを理解する。 児童・生徒ならびに自分自身のキャリア形成の仕方をイメージできるようになる。	◎	◎		
専門科目	教職に関する科目	4年次	必修	EDPF4101	教職実践演習(教諭)	2	演習	教員に必要な資質・能力について以下の4つの視点から、自らの教職課程での学習と成果を振り返り、実践力を高めるとともに教員免許を得ることの意味と責任を自覚する。 ①教師としての使命感や責任感のあり方と、教育的愛情の重要性の理解、②社会性や対人関係能力の発達と、それらの必要性の理解、③児童、生徒理解の深化、④教科の指導力向上	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	4年次	必修	EDPF4102	教職実践演習(養護教諭)	2	演習	【到達目標】 1. 卒業後に教育現場で働くことを見据えた上で、養護教諭としての力量と資質が4年間の学習を通して身についたか履修カルテをもとに課題を明確にすることができる。 2. これまでの学習をふり振り返り、学校保健活動の課題を見つけ、その課題を解決することを通して養護教諭としての役割・機能ならびに責務遂行にむけた力量と資質を向上させるための方法について考えることができる。 【テーマ】これまで学修してきたことを基盤に、養護教諭としての資質能力が真に発揮でき、組織の一員としての役割を果たすことができるよう、学生自らが養護教諭としての資質能力を確認するとともに、養護教諭のもつ責任に対する自覚やその職務に対する意欲等の喚起を図る。	◎	◎	◎	◎
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2101	保育内容「健康」の指導法	1	演習	(1)領域「健康」のねらい、内容、全体構造を理解する。 (2)領域「健康」の指導上の留意点を理解し、適切な指導能力を習得する。 (3)領域「健康」の指導について、小学校教育とのつながりを理解する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2102	保育内容「表現」の指導法 I	1	演習	・乳幼児の発達に応じた表現活動と鑑賞活動について具体的な実践と結びつけながら理解を深め、主体的かつ計画的に保育を構想する方法を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2103	保育内容「環境」の指導法	1	演習	(1)幼稚園教育の基本をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解している。 (2)子どもの発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2104	保育内容「言葉」の指導法	1	演習	幼稚園教育要領「保育所保育指針」幼児発達全領域こども園教育保育要領の理解に基づき 子どもの言葉の発達に合った援助ができる。 ・「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解した上で、言葉を育てる保育を構想できる。 ・子どもの言葉に関する諸問題について関心を持ち考えることができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2105	国語科教育法 I a(書写を含む。)	2	講義	小学校国語科の目的・構想・方法を理解するとともに、小学校教員として国語を指導するための見識・基礎的能力を習得する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2106	社会科教育法 I	2	講義	この授業では、小学校教員として必要な社会科に関する教科指導力を身につけることを目指します。この授業を通じて、小学校社会科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解できるようにします。また、小学校社会科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付けます。さらに、小学校社会科の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2107	算数科教育法 I	2	講義	この授業では、小学校教員として必要な算数科に関する教科指導力を身につけることを目指します。この授業を通じて、小学校算数科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解します。また、小学校算数科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付けます。さらに、小学校算数科の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2108	理科教育法 I	2	講義	受講者は初等理科教育における理論と実践を踏まえ、理科授業を構想するために必要な知識・能力・技能を体得できます。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2109	音楽科教育法Ⅰ	2	講義	学習指導要領で示された教科の内容を理解し、小学校の教員として音楽科の授業を計画、実施、評価するために必要となる知識と技能を身に付けること。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2110	図画工作科教育法Ⅰ	2	講義	美術教育の意義とねらいを踏まえ、小学校図画工作科の目的と内容について学習する。また、教材作成を通して、指導内容と方法について理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2111	体育科教育法Ⅰ	2	講義	・小学校体育科の目標と内容の取り扱いについて理解することができる。 ・小学校体育科授業の学習内容と学習活動の関連及び学習指導についての理解に基づき、授業設計の枠組みを捉えることができる。 ・運動領域の具体的な学習内容や学習活動を理解することができる。 ・保健領域の具体的な学習内容や学習活動を理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2112	家庭科教育法Ⅰ	2	講義	学習指導要領に示された小学校家庭科の教育目標や指導内容、指導方法について理解するとともに、具体的な授業場面を想定して授業設計を行う力を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2113	生活科教育法	2	講義	この授業では、小学校教員として必要な生活科に関する教科指導力を身につけることを目指します。この授業を通じて、小学校生活科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解します。また、小学校生活科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付けます。さらに、小学校生活科の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2114	英語科教育法Ⅰ	2	講義	小学校外国語活動及び外国語(英語)科の授業ができるようになる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2115	中等国語科教育法Ⅰ	2	講義	国語教育学の各分野における調査＋分析を通して、国語教育学の基礎研究について体系的に考究することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2116	中等国語科教育法Ⅱ	2	講義	国語教材研究の理論と実践を両面から考察し、国語教育学の意義について考究することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2117	中等国語科教育法Ⅲ	2	講義	国語科教材研究と授業開発の関係について考察し、国語教育学の授業設計の方法・学習評価の考え方について理論と実践を往還しながら理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2118	中等国語科教育法Ⅳ	2	講義	高等学校数学科の目標、学習内容について、中学校国語科と関連付けて理解するとともに、具体的な授業を想定した学習指導案を作成して模擬授業を実施し、授業改善の視点を身に付けることができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2119	中等社会科教育法Ⅰ	2	講義	この授業では、中学校社会科教員、高等学校地理歴史科・公民科教員として必要な教科指導力を身につけることを目指します。この授業を通じて、中学校社会科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解します。また、中学校社会科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付けます。さらに、中学校社会科の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2120	中等社会科教育法Ⅱ	2	講義	この授業では、中学校社会科教員として必要な教科指導力を身につけることを目指します。この授業を通じて、中学校社会科の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2121	中等社会科教育法Ⅲ(地理歴史)	2	講義	この講義は教育職免許法に定められた「教科及び教科の指導法に関する科目」の「各教科の指導法」に該当し、中学校教諭免許状(社会)および高等学校教諭免許状(地理歴史)取得のために履修が必要である。とりわけ本講義は、高等学校地理歴史科に照準を定め、その学習指導要領や現状ないし課題について、理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2122	中等社会科教育法Ⅳ(公民)	2	講義	この授業では、中学校社会科・高等学校公民科の教員として必要な教科指導力を身につけることを目標としています。具体的には、次の5つを達成できるようにすることを目指します。 1. 社会科・公民科の理論的背景と先行実践について理解することができる。 2. 「現代社会の見方・考え方」を意識しながら、現代社会の諸課題を教材化するすることができる。 3. 社会的な事実を調べ、資料を収集し、それを社会科・公民科の授業実践に活かすことができる。 4. 適切な学習課題を設定しながら、社会科・公民科の単元を開発することができる。 5. 社会科・公民科を担当する教師に求められる力量や授業を実践する際に重要になるポイントについて自分自身の考えをもつことができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2123	中等数学科教育法Ⅰ	2	講義	中学校数学科、高等学校数学科の学習内容が、主として、「代数」「幾何」「解析」「確率・統計」に関わる4つの学問領域で構成されていて、小学校算数科も含めて、カリキュラムが系統的に編成されていることを俯瞰的に理解するとともに、4つの学問領域に関わる内容を教材研究に活用して、指導上の留意点を理解する。また、学習評価の考えや情報機器の活用方法について理解した上で、授業を計画・実践・改善するための基礎を身に付け		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2124	中等数学科教育法Ⅱ	2	講義	中学校数学科の学習内容について、生徒の実態を捉えるとともに、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4つの領域で構成されていて、小学校算数科も含めて、カリキュラムが系統的に編成されていることを俯瞰的に理解する。また、「数と式」「関数」について、指導のあり方・指導上の留意点や生徒の理解の様相について理解するとともに、情報機器・授業設計の方法・学習評価の考え方について理解する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2125	中等数学科教育法Ⅲ	2	講義	2年後期「中等数学科教育法Ⅱ」における中学校数学科の「数と式」「関数」に引き続き、中学校数学科の「図形」「データの活用」について、指導のあり方・指導上の留意点や生徒の理解の様相について理解するとともに、情報機器・授業設計の方法・学習評価の考え方について理解する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2126	中等数学科教育法Ⅳ	2	講義	高等学校数学科の目標、学習内容について、中学校数学科と関連付けて理解するとともに、指導上の留意点や情報機器・教材の効果的な活用法、学習評価の考え方について理解する。また、子どもの認識・思考を視野に入れた授業設計の重要性を理解した上で、具体的な授業を想定した学習指導案を作成して模擬授業を実施し、授業改善の視点を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2127	中等理科教育法Ⅰ	2	講義	理科教育学の基礎、および理科授業の構想に必要な知識・能力・技能等を習得することを目指す。理科と自然科学との関係、理科教育の目的・目標を理解するとともに、理科教育学の基礎と理科授業のあり方について包括的に理解でき、理科の探究的な授業の構想力を身につけることを目標とする。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2128	中等理科教育法Ⅱ	2	講義	中学校や高等学校の理科の教員として、理科の指導を行う際、学習指導要領を意識しつつ、理科の資質・能力を育成するような授業のイメージをもてるようにする。そして、その授業イメージを踏まえた授業を実際に実施できる素地をつくれるようにする。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2129	中等理科教育法Ⅲ	2	講義	教育実習を通じて学んだことや課題を整理し、理科教育理論と往還しながら課題に対する各自の回答を見出す。これを通じて、理科授業の構想・展開に必要な理科教育学的知識と技能を習得し、教員として必要とされる資質能力を身につける。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2130	中等理科教育法Ⅳ	2	講義	受講生は、これまで学習した中等理科教育に関する理論について振り返るとともに、まとめや発展として、より実践的な内容につなげられるような知識・技能・表現等を体得することができます。また、中等理科教師として必要な理科授業づくりのための素養を、資質・能力の観点から身に付けることができます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2131	中等音楽科教育法Ⅰ	2	講義	学習指導要領の理解を基盤として、中学校及び高等学校の音楽授業における歌唱・器楽・創作・鑑賞の各指導内容と指導方法について、基礎的な知識と技能を身につけ、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う。また、音楽の授業を取り巻く諸問題について考察していくための、基本的な理解と思考力を養う。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2132	中等音楽科教育法Ⅱ	2	講義	①学習指導要領で示された内容の理解をもとに個人で学習計画を立案し、グループ活動をとおして題材構想する能力を身に付ける。 ②中学校の音楽授業における歌唱・器楽・創作・鑑賞の授業場面を想定した模擬授業を実施する能力を身に付ける。 ③学習指導要領を理解し、中学校の音楽科授業の学習指導案を作成することができるようになる。 ④学習評価の考え方についての理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2133	中等音楽科教育法Ⅲ	2	講義	児童が学校内及び公共施設などの学校外における音楽活動のプランが考えられるよう意識できるような視野を身に付ける。 ・広がりのある音楽活動を展開できる表現力を身に付ける。 ・実際に子どもに関わる場面を想定しながら音楽プログラムを企画する中で、音楽に対する感性や技能を磨き、計画的な見通しを持って準備ができるようになる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2134	中等音楽科教育法Ⅳ	2	講義	①学習指導要領で求められている和楽器と伝統的な歌唱の指導に必要な知識と技能の習得 ②我が国の伝統音楽の鑑賞指導の授業をプログラミングする能力 ③子どもたちに我が国の伝統音楽の魅力を伝えられるような広がりのある音楽活動を展開できるような視点の獲得 ④子どもたちと音楽的な関わりを持つ中で、音楽科教育の今日的課題である我が国の伝統音楽を指導する力を身に付ける		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2135	中等美術科教育法Ⅰ	2	講義	美術教育の意義とねらいを踏まえ、中学校美術科の目標と内容について学習する。具体的には、学習指導要領について学んだり、教科の学習内容や指導法、学習指導案の書き方等を学んだりする。指導案や題材の作成、模擬授業等を通して、指導内容と方法について理解を深めます。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2136	中等美術科教育法Ⅱ	2	講義	美術科教育の意義とねらいを踏まえ、学習指導要領における目的と内容について学習する。教材開発を通して指導内容と方法を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2137	中等美術科教育法Ⅲ	2	講義	鑑賞教育を取り上げ、指導内容と方法について理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2138	中等美術科教育法Ⅳ	2	講義	美術科は文化に関する学習において中核をなす教科であり、日本の文化の継承と発展、創造のためにも美術文化について深く理解する。教材開発や模擬授業を通して指導内容と方法を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2139	中等保健体育科教育法Ⅰ	2	講義	・学校教育における保健体育教科の位置づけや意義を考えることを通して、教科の目標の意味を理解することができる。 ・保健体育の授業を通して身につけさせる資質や能力について理解することができる。 ・体育分野、保健分野の指導内容やその構成を理解することができる。 ・保健体育の授業づくりに必要な教材研究の視点を理解し、具体的な授業を想定した教材研究に基づいた授業設計を行うことができる。 ・学習指導案の構成と意義を理解することができる。 ・教材研究に基づいて学習指導案を作成することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2140	中等保健体育科教育法Ⅱ	2	講義	・授業を想定した具体的な学習内容と指導上の留意点を理解することができる。 ・子どもの実態の予測をもとに授業場面を想定して模擬授業を実践することができる。 ・模擬授業を行うことを通して、実際の授業のイメージをつかむことができる。 ・模擬授業について、授業者・学習者・観察者からのそれぞれの観点で振り返ることに基づいて、教材研究の仕方や内容を見直し、授業展開における教師の役割の理解を深めることができる。 ・授業実践研究への展開に向けて、課題(問題意識)を見出すことができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2141	中等保健体育科教育法Ⅲ	2	講義	<保健体育科:体育分野> 保健体育科:体育分野の授業実践研究演習に取り組むことを通して、体育授業の構造の理解を深め、よりよい授業づくりのために必要な研究の視点や方法を身につけることができる。 <保健体育科:保健分野> ・保健体育科:保健分野の授業づくり・授業実践の方法について理解することができる。 ・保健体育科:保健分野の授業と評価の方法について模擬授業の取組みを通して理解することができる。 ・保健体育科:保健分野の授業研究の動向について理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2142	中等保健体育科教育法Ⅳ	2	講義	<保健体育科:科目「体育」> ・高等学校の教育課程における保健体育科:科目「体育」の意義と目標を理解することができる。 ・学習内容と指導方法、授業の教材研究の意義や方法について理解することができる。 ・授業の指導計画・学習指導案の構造や作成方法、授業づくり・授業実践、評価の方法について理解することができる。 <保健体育科:科目「保健」> ・高等学校の教育課程における保健体育科:科目「保健」の意義と目標を理解することができる。 ・学習内容と指導方法、授業の教材研究の意義や方法について理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2143	中等保健科教育法Ⅰ	2	講義	小・中・高等学校学習指導要領の目標・内容を正しく理解することができる。保健の授業を展開するうえで必要となる教材研究・教材づくり・指導案づくり、また評価方法についても理解することができる。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2144	中等保健科教育法Ⅱ	2	講義	中学校学習指導要領解説保健体育編に書かれている技術分野で指導する内容を理解でき、保健の授業を展開するうえで必要となる教材研究・教材づくり・指導案づくり、また評価方法についても理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2145	中等保健科教育法Ⅲ	2	講義	高等学校学習指導要領解説技術・家庭編に書かれている技術分野で指導する内容を理解でき、保健の授業を展開するうえで必要となる教材研究・教材づくり・指導案づくり、また評価方法についても理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2146	中等保健科教育法Ⅳ	2	講義	小・中・高等学校の、保健の授業を展開するうえで必要となる教材研究・教材づくり・指導案づくり、また評価方法について授業分析や授業についての議論ができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2147	中等技術科教育法Ⅰ	2	講義	1.中学校学習指導要領解説技術・家庭編に書かれている技術分野で指導する内容を理解できる。 2.技術分野の指導計画や授業案およびビデオ教材を作成し、ICTを活用した提示用教材を制作できる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2148	中等技術科教育法Ⅱ	2	講義	中学校では「技術・家庭」科となっているが、免許状は「技術」と「家庭」は別になっている。本授業は「技術」教育に関する独自性に注目し、技術科教育に関する歴史、目標、教育内容、教授方法などを学習する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2149	中等技術科教育法Ⅲ	2	講義	中学校技術・家庭の技術分野に関する複数時間の題材構想をインストラクショナル・デザインに基づき検討し、各回で利用する指導案の作成および模擬授業を実施することで、技術教育の指導能力を高めることができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2150	中等技術科教育法Ⅳ	2	講義	中学校教員免許状「技術」を取得する人のなかで、一種免許を取るための必修科目である。技術教育学研究法を身につけていく。技術科教育の意義、内容、実践授業に学びつつ、自らの技術教育観を形成するためにも、教育学研究として深めていく。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2151	中等家庭科教育法Ⅰ	2	講義	中学校、高等学校家庭科の目標(育てたい資質・能力)、学習内容、学習指導方法、題材構成、評価方法等について理解を深める。また、家庭科の主たる学習内容について概要を理解して、一つの題材を設定して、題材計画、一時間分の学習指導計画を立ててみる。さらに、代表者による模擬授業実践を受講して、相互に検討し合うことを通じて、家庭科の授業づくりの基礎を身につける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2152	中等家庭科教育法Ⅱ	2	講義	家庭科の学習指導法や子どもの思考等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解し、情報機器及び教材を効果的に活用して家庭科の授業を創る力を身につける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2153	中等家庭科教育法Ⅲ	2	講義	模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けるとともに、中学校および高等学校の家庭科教育における実践研究の動向を理解し、授業設計の向上に取り組む力を身に付ける。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2154	中等家庭科教育法Ⅳ	2	講義	資質・能力を育てることを目指し、パフォーマンス課題や協調学習の一つである知識構成型ジグソー法を用いた家庭科の授業を計画して模擬的に実践し、生徒役の記述から評価してみる。授業実践力を育てることを目標と		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2155	中等英語科教育法Ⅰ	2	講義	主として、中・高等学校において効果的な英語科授業ができるようになる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2156	中等英語科教育法Ⅱ	2	講義	目標1:中等英語科教育法Ⅰに引き続き、英語科教育の理論と実践の往還を行う。 目標2:教育実習に備え、学習指導案作成と模擬授業実施を行い、授業力を高める。 目標3:英語力の評価法について学び、練習を行う。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2157	中等英語科教育法Ⅲ	2	講義	英語教育における効果的な小・中接続を学習する。 英語科における初歩的な統計調査法を身につけ、卒論に備える。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2158	中等英語科教育法Ⅳ	2	講義	The goal of this course is to consolidate students' understanding of a range of issues in teaching English as a foreign language (TEFL), and to provide practice with talking and writing about TEFL in English.		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2159	書道科教育法Ⅰ	2	講義	学校教育における「文字を書くこと」の教育」すなわち小中学校における国語科書写及び高等学校芸術科書道での指導のあり方について考える。Iでは書写を中心に取り上げる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2160	情報科教育法Ⅰ	2	講義	1.高等学校学習指導要領解説情報編に書かれている、情報科で指導すべき内容が理解できる。 2.情報機器を利用した授業実践例について、内容を理解して実践することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2301	家庭科授業演習Ⅰ	2	講義	家庭科教育の中で、受講生の関心あるテーマについて、文献をあたる。必要に応じて調査や見学実習、実験も行う。こうした活動を通して、問題意識を鮮明にし、教材開発や授業研究に対する関心を高める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	2年次	必、選 択	EDTM2302	家庭科授業演習Ⅱ	2	講義	家庭科教育の中で、受講生の関心のあるテーマについて、実習、調査、見学、実験などを行う。こうした活動を通して問題意識を鮮明にし、教材開発や授業づくり、研究に対する関心を高める。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	必、選 択	EDTH3113	工業科教育法Ⅰ	2	講義	工業教育の意義・役割などの学習から、教科「工業」で指導する内容について考え自分の意見が持てるようになること。工業高校で実際に行われている授業や実習内容を学びながら、教員として必要になる法令や指導法などの基礎的な知識を習得する。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	3～4年次	必、選 択	EDTH3114	工業科教育法Ⅱ	2	講義	高等学校工業科の免許取得のために、工業教育の歴史的な推移を説明するとともに、工業高校における学習理論や進路指導、学校運営などを理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に関する科目	3年次	必、選 択	EDTH3115	情報科教育法Ⅱ	2	講義	学習や授業の構造に関する簡単な解説をふまえて、活動的な授業を自ら体験することで、情報科の教育法に関する理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1201	専門基礎社会	2	講義	小学校から中学校までの社会科の題材の背景にある、人文社会科学的な考え方の基本を学ぶことをめざす。さらに、そうした考え方を踏まえたうえで、小中学校の社会科の授業にいかにか活かしていくのか、理解を深めたい。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1202	専門基礎音楽	2	講義	音楽科の目指す人間形成の視点から、小学校音楽科の授業実践の基盤となる音楽に関する社会的・文化的価値を理解し、教科内容や指導法に関わる音楽の専門的知識及び技能を、授業場面を意識しながら学ぶ。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1203	専門基礎図画工作	2	講義	美術の教養を深め、小学校図画工作科教員に必要な造形知識と造形技能を養うことを目的とする。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1204	専門基礎体育	2	講義	・学校教育における体育科の位置づけや意義を考えることを通して、教科の目標の意味を理解することができる。 ・学習指導要領に示されている内容の読み込みを行なうことを通して、体育分野・保健分野の指導内容やその構成について理解することができる ・運動領域と保健領域の授業づくりにおける教材研究の仕方とその意義について理解することができる ・運動領域と保健領域のそれぞれの内容について理解し、教材研究(授業づくり)をする際の留意点等について理解することができる。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1205	専門基礎家庭	2	講義	人はものや環境との相互関係によって、心身ともに健康で安全な、生涯にわたる自己実現を追求していくものである。これを生活主体の形成という目標として、子どもの指導をする立場から、生活研究の基礎理論について実験実習を通して学んでいく。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1206	専門基礎生活	2	講義	「生活科」は、小学校低学年のみに設けられている教科です。この授業は、複数教官によるリレー方式で行われます。生活科新設のねらいや目標について解説した後、生活科の目標である「具体的な活動や体験を通して」学習することを、ハツカダイコン栽培や遊び、日常生活における身近な自然などを通し、実際に「体験」してもらおうと思います。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	1年次	必、選 択	EDSE1206	専門基礎英語	2	講義	主として、小学校外国語活動、英語科の授業ができるようになる。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	3年次	必、選 択	EDSE3201	専門基礎国語(書写を含む。)	2	講義	小学校教員として国語科を指導する際に役立つ専門性を養うことが、この授業の目標です。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	3年次	必、選 択	EDSE3202	専門基礎算数・数学	2	講義	小学校から高等学校初学年くらいまでの算数・数学の題材の背景になる、数学的な考え方や数学的な分析の仕方、数学のもつ美しさなどを、いくつかの興味深い話題を手がかりに考察していく。現在、学校現場で重視されている算数的活動・数学的活動・課題学習でのよい題材を提供することも意図している。		◎	◎	
専門科目	教科に関する科目	3年次	必、選 択	EDSE3203	専門基礎理科	2	講義	日常的に身近に体験する機会の多い事象を題材として、日ごろ何気なく見過ごしていることに疑問を感じ、合理的に思考する手がかりを得られるようにしたい。今後の自発的な理科の学習のための下地を身につけてもらいたい。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	1年次	選択	EDCR1301	生涯学習概論Ⅰ	2	講義	自分の生き方を社会との関わりの中で、見つめ直し、再創造し、広げていくために、生涯学習を身近で、不可欠なものにしていく。シンクグローバリー、アクトローカリーの精神から、生涯学習の核心に迫ります。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	1年次	選択	EDCR1302	生涯学習概論Ⅱ	2	講義	①生涯教育、生涯学習、社会教育について理解し、説明できるようになる。 ②社会教育施設(博物館、公民館など)の機能と役割を理解する。 ③学ぶための方法はいろいろあることを知り、目的に応じて方法を選び取る力を養う。 ④おとなの学びの実際を、学習者の視点と社会の状況の視点から理解できるようになる。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	1～4年次	選択	EDCR1303	メディア教育実践学	2	講義	具体的な事例を通して、メディアを活用した教育についての理解を深め、メディアを活用した授業づくりの力量を形成することを目指す。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2年次	選択	EDCR2301	自然と環境教育	2	講義	この授業では、受講者が、環境教育の目的と重要性・意義、環境教育の歴史やこれから求められる環境教育、自然からみた環境問題を正しく認識し、身近な自然から地球規模の環境まで、地球温暖化や生物多様性の変化などの環境問題の原理や環境への影響を科学的視点に立って考える。 学校教育における自然を中心とした環境教育のあり方について考えることができる能力を実践的に身につけることを目標に、世界的視野をもった展望に立って、過去から未来へとつながる望ましい人と自然のあり方を志向する環境教育のあり方を、学校現場、地域社会での実践的な観点から考えることをテーマとしている。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に準ずる科目	2年次	選択	EDCR2302	学校日本語教育論	2	講義	学校内外での日本語学習者および当該学習者をめぐる対応について、学習支援や教室活動の理論的背景を理解し、言語教育の全体像とあるべき姿を考察する。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2年次	選択	EDCR2303	多文化共生	2	講義	本授業の到達目標は、履修生らが世界の変動を地域の観点から学び、現代社会の諸課題を広い視野から考える力を身に付けることである。テーマは、国際化・多様化する地域社会が抱える現代的課題である。授業ではグローバル化現象を地域社会の課題から解説し、知見を深める。 □		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2年次	選択	EDCR2304	学習者中心の授業づくり	2	講義	学習科学の知見に基づき学習者中心、知識中心、評価中心、共同体中心の学習環境のデザインの意義を説明することができる。その理解に基づき授業を設計することができる。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2～4年次	選択	EDCR2305	人権教育論	2	講義	米原担当分では、人権やそれに関する諸概念を扱い、思想家たちがそれらに与えてきた解釈を講義する。また、国内外の人権教育の実践例も紹介し、その意義と課題の検討も行う。矢野担当分では、平和教育のあり方を通して具体的に戦争から人権を考えていく。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2～4年次	選択	EDCR2306	特別活動論	2	講義	この授業は、教育職員免許法に定められている「教職に関する科目」のうち、「特別活動に関する科目」に該当するものです。特別活動の特質について理解を深めるとともに、具体的な実践事例をもとに、子どもの人間関係にとって望ましい特別活動の展開に向けての指導力の育成をします。また、実施上の課題についても考察し理解を深めます。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	2～4年次	選択	EDCR2307	道徳指導論	2	講義	この授業は教免法「教職に関する科目」内の「道徳指導法」に該当する科目である。学生が道徳指導に関わる基本的な知識を身につけ、それらをヒントとしながら、道徳指導の可能性について深く考えることができること、また、道徳指導の実践についてのアイデアを多様に展開できること、単に知識の提示に終わるのではなく、自分自身が道徳指導について持つ課題に引きつけて多様な道徳指導上の視点から考えて実践できる可能性を見出す姿勢を身に付けることが到達目標である。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3301	国語科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	小・中学校国語科の内容について概要を理解する。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3302	国語科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小・中学校国語科の内容について理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3303	社会科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	この講義は、教育教職免許法に定められた「教科又は教職に関する科目」の「教職に準ずる科目」に該当するものです。講義では、具体的な社会科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校社会科の教育内容の特色とその選択の意味を考え、社会科教師としての授業力を高めます。 □		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3304	社会科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	この講義は、教育教職免許法に定められた「教科又は教職に関する科目」の「教職に準ずる科目」に該当するものです。講義では、具体的な社会科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校社会科の教育内容の特色とその選択の意味を考え、社会科教師としての授業力を高めます。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3305	算数・数学科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	中学校・高等学校の数学授業をつくる上で必要な「教材研究と教材開発」に焦点をあてる。代数、幾何、解析領域のそれぞれについて、生徒が興味・関心を持つような教材を扱い、実際に教材開発を行うこと等を通して、中学校・高等学校の数学教材に関する理解を深める。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3306	算数・数学科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	具体的な事柄の起こり得る場合を、表や図や集合を用いて表すことができる。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3307	理科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	1)受講者は、小・中学校の理科学習内容の背後にある新学習指導要領に対応した学問的な知識体系と技能について理解を深めることができます。 2)受講者は、教育実習において使用可能なレベルの理科学習指導案を作成できるようになります。 3)受講者は、教育実習Ⅱ、Ⅲともに連動し、小・中学校の理科内容を実践的に、より専門的に深めることができます。		◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	DP4
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3308	理科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小中学校理科の物理・化学・生物・地学領域の学習内容の背後にある新学習指導要領に対応した学問的な知識体系と技能について理解を深めます。また、教育実習後の授業設定であるため、教科内容理解に基づいて、科学概念をもとにした単元構想や授業づくりの力の育成を目指します。 □		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3309	音楽科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	具体的な音楽科授業づくりを視野に入れながら、小学校および中学校音楽科の教育内容の特色と意味を考え、教育実習ⅡおよびⅢと連動して音楽の教科内容を実践的かつ専門的に深めることを通して、教職とは何かについて理解する。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3310	音楽科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	学習指導要領における日本の伝統音楽の位置付け、日本音楽史との関連も学びながら、学習指導要領で求められている和楽器の指導、伝統的な歌唱の指導、我が国の音楽(伝統音楽)の鑑賞指導の実践を見据えて和楽器「三味線」と伝統的な歌唱を学び、実際に指導ができるための基礎知識を身につける。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3311	美術科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	この授業では「教材研究」をキーワードとして、教科専門と教科教育を架橋し、美術教育の実践的能力の育成を図るものとする。そこでは、中学校美術および小学校図画工作の授業内容を再検討することで、美術授業の魅力や楽しさを実感するとともに、教材開発の重要性について学ぶ。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3312	美術科教科内容指導論Ⅱ	2	講義	小学校図画工作科及び中学校美術科学学習指導要領を踏まえ、図工・美術の授業を展開するために必要な基礎的な理論と教材開発の方法を習得し、実践することを目的とする。		◎	◎	
専門科目	教職に準ずる科目	3年次	選択	EDCR3313	保健体育科教科内容指導論Ⅰ	2	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の運動の特性及び内容について理解することができる。 ・各種目の学習内容について理解することができる。 ・学習内容を習得させるための具体的な学習活動やその指導を知り、教材づくり(授業づくり)についての理解を深めることができる。 ・教育実習で実践した授業の振り返りを通して、授業改善の視点を見出すことができる。 		◎	◎	